

＜鮎谷周史 緊急放談＞

コロナ後の世界を見据え、奇禍を奇貨とし、

「すでに起こった未来」を先取りするため
に必要な心構えと準備とは？放談会音源

～変化対応こそが人生であり、
ビジネスであり、キャリア構築。

社会が激変する只中であって、
今すぐ、あなたが行うべきこと

セミナーにご参加下さった方ならびに
音源をお聴き下さった方からの
ご感想集

アフターリーマン戦争で多大なる成果を挙げている鮎谷さんが、2008年のリーマンショック後にどういった橋頭保を築いてきたかを知ることができ、更にこれからどういった橋頭保を築いて行くべきなのか。という点について学ぶことができる。これだけでも非常に価値がある音源と言えるのではないのでしょうか。

語弊を恐れずに書かせて頂くと、

Being：目標設定音源
Doing：アフターコロナ音源
Having：ピラミッド音源

という整理ができるのかな、と考えています。

違う表現をすると、「橋頭保」のような位置づけにできるのが、この音源ではないかと思います。Wikipediaによると、橋頭保という言葉は「敵地などの不利な地理的条件での戦闘を有利に運ぶための前進拠点」という意味がありますが、アフターコロナで起こりえる世界を能動的に進んでいくための橋頭保になり得るのがこの音源ではないかということです。

これから、コロナウイルスによって世界が変わっていく可能性は多分にあると思いますが、戦う上で拠点がなければゲリラ戦で勝負をせざるを得なくなり、心は常に敵に襲われるのかという不安で一杯、その上、相手から不意打ちを食らったらそこで試合終了。そんな状況に陥ってしまうのではないかと思うのです。

そんな状況において、本音源では、アフターリーマンで鮎谷さんがどういった橋頭保を作って来られたのか、という点について語られています。更に、この音源ではこれからどういった橋頭保を作っていけば良いのか。という点も示してくれています。

もちろん、未来がどうなるかは神のみぞ知るの世界ですが、アフターリーマン戦争で多大なる成果を挙げている鮎谷さんが、2008年のリーマンショック後にどういった橋頭保を築いてきたかを知ることができ、更にこれからどういった橋頭保を築いて行くべきなのか。という点について学ぶことができる。これだけでも非常に価値がある音源と言えるのではないのでしょうか。

ただ、本音源の本質的な価値は違う部分にあると考えています。それは、「音源を繰り返し聞くことによって、橋頭保を作らないといけない。」という意識を自分に刷り込むことができる。という点です。橋頭保を作ることが大切と頭で分かっている、能動的に作ろうとする人はほとんどいない。(未来を見据えて今の行動をする人はほとんどいない)というのが事

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

実。

結局のところ、本音源も一度聞いただけでは、数日でほとんどの内容を忘れてしまい、元の自分に戻ってしまうのではないのでしょうか。そんな時、本音源が橋頭保のような役割を果たしてくれると思うのです。つまり、本音源を繰り返し聞き続けること自体が、橋頭保を少しずつ積み上げていくことに他ならず、本音源を聞けば聞くほど、橋頭保を作るという目標が、Having から、Doing や Being に近づいていく。(もしくは融合していく。)と言えるのではないかと考えています。更に違う表現をすると、この音源そのものが「橋頭保」であるということです。

個人的には、コロナによる一連の騒動が落ち着いた頃に本音源を聞いた際、

「あの時からこの音源を聞き続けたお蔭で最高の橋頭保が作れた！」

と言えるよう、日々音源を繰り返し聞き、自分への刷り込みを続けていこうと思います。

変わりゆく世界で生き残るための橋頭保を作りたい方は、購入を検討されてみても良いかもしれません。

今回もありがとうございました！

(株式会社 CODOR 代表取締役 大橋亮太様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

音源を何度も聞くことで、いろいろなアクションを思いつき、それを実行して日々のメルマガで他の方の感想等を拝見させていただくことで更にアクションを思いつき実行しという良いスパイラルが実現できています。

鮎谷さん

このたびは学びの深い音源を提供いただきましてありがとうございました。

コロナのこの状況を自分にとっての大きなチャンスという認識をもつことで、様々な行動が誘発されてきました。

音源を何度も聞くことで、いろいろなアクションを思いつき、それを実行して日々のメルマガで他の方の感想等を拝見させていただくことで更にアクションを思いつき実行しという良いスパイラルが実現できています。

改めて自分自身の焦点を何に当てるのかということについての重要性を学ばせていただきました。アクションについての効果は即効性のあるものから、タイムラグがあるものまで様々あるかと思いますが継続して手数を打ち続けていくことで自分自身の人生の目標を達成させるように動き続けていきたいと思います。

この度は誠にありがとうございました。

(R. S 様)

タイムリーな話題を取り上げて頂き、1日も早く手を打って、時間と労力を未来に飛ばしていかないと、と改めて思いました。

今回も素晴らしい音源ありがとうございました！

5年以上前から平成進化論を読んでいますがお陰様で、コロナショックの中でも、最小ダメージで、すぐに切り替えることができました。

心より感謝申し上げます。

起業放談音源、リスクマネジメントセミナー、個別コンサルなど・・・を利用してきた中で学び、日々準備してきたことが、まさかこういう形で実を結ぶとは思っていませんでした。

今回の音源購入理由は、このご時世において、鮎谷さんがどう考えられるかを知りたかった、ということが挙げられます。タイムリーな話題を取り上げて頂き、1日も早く手を打って、時間と労力を未来に飛ばしていかないと、と改めて思いました。

現在大事なものは、変化の先頭に立って、資源の範囲内で知恵を振り絞り、行動しまくることだと考えています。事業を続けていく中で苦労ばかりでしたが、平成進化論を読んで、準備してきたため、ここがチャンスに見えます。

離陸するために、勇気を持って大量行動をして、異次元の結果に繋がられるように
したいと思います。

今後とも宜しくお願い致します！

(ルクレクサ 鈴木健太 様)

音源を聴き終えて（またそのタイミングでコンサルを受講して）、いやいや、これはまたとないタイミングで自分の仕事（キャリア、人生）の位置づけを、違う角度から見直すきっかけと時間を頂いたのではないか？と思えるようになりました。

鮎谷さん、
この度もタイムリーな音源を
ありがとうございました！

今回のコロナ禍を受けて、私はパーソナルトレーナーとしての活動が全面的にストップしてしまい、どうしてこのような時期に...という思考に陥ってましたが、音源を聴き終えて（またそのタイミングでコンサルを受講して）、いやいや、これはまたとないタイミングで自分の仕事（キャリア、人生）の位置づけを、違う角度から見直すきっかけと時間を頂いたのではないか？と思えるようになりました。

実際に世の中は「変化していくのが常態（常である）」であり、それが緩く変わっていくのか、急激に変わっていくかの違いがあるだけ。そもそも人生は川の流れてのようなもので（歌にもありますし...）、緩やかな流れもあれば、急な流れもある。

ともあれ流れゆく（変わる）のが大前提にあり、今まで私はたまたま運良く（悪く！？）それを体験していなかっただけのこと。（リーマンショックの際はまだ会社員だったので、その状況を肌で感じる事がなかっただけ。）

奇しくも鮎谷さんは独立されて5年後にリーマンショックに見舞われたとのことでしたが、私も独立して同じく5年後に今回のコロナ渦に見舞われました。

5年間は主にパーソナルトレーナーとして活動してきましたが、果たして一生涯パーソナルトレーナーとしてやっていくのか？、それとも何か違うことをしながら人々の健康に寄与していくのかを横目に見ながら（今がそこそこ充実し、安定もしていたので、ある意味見て見ぬふりをしながら）やってきましたが、改めて正面から見据えるきっかけを頂いた訳です。

その際に自らが社会との関わりの中でどういう存在でありたいか？を一旦は抽象度を上げて捉え直すようになり、そのための手段としてビジネス（今ならパーソナルトレーナーや育成コンサルタント）があるのであり、今はまさにその手段を見直す時期だということ。

そのためにも自らの仕事を「パーソナルトレーナー」から「健康提供業」に抽象度を引き上げ、そこから落とし込む必要があるのです。

今後はかつてよりも確実に対面ではなく、テレワークによる価値提供が求めら

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

れ、そのテレワークにおいては「個としての自立」がキーワードになるとのことは、まさに自宅ワークが主になった今現在、肌でそれを実感しています。

この度の音源をお聞きして、「歴史は韻を踏む」（全く同じではないけれども繰り返す）ということ、「すでに起こった未来」から逆算して、これからどうあるべきかを見直すこと、テレワークによって一旦は下がっている生産性を「個としての自立」を踏まえて、どう克服していくか？ということが本当の意味で腑に落ちました。

being 目標を再確認しながらも動く、また再確認しながらも動くということの必要性を感じると共に、「動かなければならない」ではなくて「動きたい！」というモードになり、お陰さまで（困難な状況ながらも）ワクワクしながら行動できています。

今ある状況に感謝し、行動し続けることができているのは、鮎谷さんの音源やコンサル様々です。

ありがとうございました。

これからも引き続き宜しくお願い致します。

（パーソナルトレーナー兼トレーナー育成コンサルタント 中野茂徳 様）

リーマンショックを経験してから、鮎谷さんがいろいろ考え、行動したこと。その変化に適応した結果が今に繋がっていること、をシェアいただいたことで、危機こそチャンスだということを、現実味を持って納得、確信することができました。

私は、起業をして2年経ちますが、幸いお客様にも恵まれ、今回のコロナ危機においても、一撃でノックアウトという状況には陥らずに済んでいます。しかし、今後持ちこたえ続けられる保証はどこにもなく、漠然とした焦りと不安を抱えながら、

「とにかく今できることをやらなきゃ」

「アフターコロナにV字回復できるように備えなきゃ」

と、自分としては平常時よりも、いろいろな行動をしているつもりでした。

しかし、今回の音源を聴いて、行動も全く足りないし、そもそも「危機感」のレベルが低すぎることを、認識することができ、改めて、今このタイミングで（遅いかも知れませんが、）この音源を聴くことができたことに、心から感謝しました。

冒頭に「経営者は『変化適応業』」というお話があり、いきなり納得！のスタートでした。全体を通じて、「変化することが常態である」という前提に立つことが大切、というより、当たり前、なんだと、何度も何度も伝えていただきました。

鮎谷さんの、いつもながらのスゴ技で、具体と抽象を行ったり来たりしながらご自身の経験も惜しみなく盛り込みながら、具体的イメージを持たせていただき、『変化適応業』の言葉とともに、しっかりと刻みこまれたと感じています。

中でも、リーマンショックを経験してから、鮎谷さんがいろいろ考え、行動したこと。その変化に適応した結果が今に繋がっていること、をシェアいただいたことで、危機こそチャンスだということを、現実味を持って納得、確信することができました。

残念ながら、私は、リーマンショックの時は会社員として、ある意味会社が守ってくれる立場にしながら、本当の意味での危機対応、意識変革、を行っていなかったことを悔やみますが、また、次に来る（であろう）危機に備える意味でも、当然、今の危機を乗り越え、チャンスにして成長するためにも危機感を持って、“今”もっともっと行動しよう、と強く思うことができました。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

そして、さらに、そのモチベーションを上げてくれたのが、

「今は急激に秩序・ルールが変わる時」
「こういう時でないと下克上は起こらない」

という言葉です。今、変化に適応できなければ、下克上できないどころか、アフターコロナに、自分をもっと落ちて行ってしまうかもしれないし、適応できた人たちに大きく引き離されてしまう、と恐ろしく感じました。

今回の音源では、その他にも、たくさんの学びがありましたが、長くなりすぎるので控えますが、「情報収集」に対する考え方や、「オンラインでの発信力」「オンラインで（直接会うことなく）関係性を深めていくことの必要性」など、大切とはわかっているけど、つい対応を先送りしてしまうことについても一段自分の危機感／モチベーションを上げていただけました気がします。

この機を逃さぬよう、とにかく、“行動！”していこうと思います。
本当にありがとうございました！！

(R. A 様)

もし、鮎谷さんに出会えていなければ、予測できない未来に思い悩み、目標を失って路上に迷っていたかもしれません。

アフターコロナ音源を購入させていただきました。
今回も期待値を超えた仕上がりで、学びが沢山ありました。

コロナショックで不安定になっている現代、何か道しるべになる光を探していた私にとっては、この音源が道しるべになると思います。

特に音源の中で印象に残った言葉は、「変化が常態である」です。油断しているとすぐ、日常に埋もれてしまい、大原則の変化が常態を忘れてしまいます。事実、コロナ危機が来るまで日常に埋もれて、こんな平和な日々が永遠？に続くと思っていました。そんな矢先に今回のコロナショックに襲われ、自粛が進む中、少しずつ日常の幸福さを実感しています。

そんな中、鮎谷さんが仰っていた、「変化が常態である」という言葉を聞いて、変化する社会に対して少し前向きになりました。

自分が持っている世界認識を変えていきます。
変化こそが機会であり、既得権益の連中を打破するチャンスだと解釈して頑張ります。

在宅勤務も始まり、まさに個のマネジメント力が求められる世界になってくると痛感しております。(自宅だと油断するとすぐ、、サボ・・・笑)
コロナショックが終わるまでに、自分自身の炭鉱のカナリアを見つける、目標を再設定し、この機会をどう活かすか考える、アフターコロナ仮説を多数用意する(専門家の知恵を拝借する)

上記三つは最低でも行いたいと思います。
鮎谷音源を聞き始めて2年になりますが、少しずつ文章力や自問自答の問いの精度が上がっています。

もし、鮎谷さんに出会えていなければ、予測できない未来に思い悩み、目標を失って路上に迷っていたかもしれません。そういう意味では、私は非常に幸運だと思いますし、今回のコロナショックも乗り越えるどころか、機会として利用し飛躍したいと思います。

今後も新しい音源を期待しております。

(Y. I 様)

ただ、「ジッと耐え忍ぶ時期だ」という思考から、「今は未来を作る時期だ」という思考への変化を促していただいた音源になりました。

コロナウィルスの渦に巻き込まれ、不安が募る一方で、なんとか国や自治体の給付金・支援金を頂戴できる。

そんなメドも立ち、

「まずはジッと我慢強く耐え忍ぶとき」

そんな風に思ってる最中に音源を拝聴させていただきました。

「今こそがチャンスの時」

そう思わせてくれる内容であり、ふと自分の過去を思い出させてもらう内容でもありました。

その過去とは、父親が創業した会社が得意先の倒産に巻き込まれて廃業に追い込まれた

過去があります。僕はその崖っぷちの時に初めて、自分のお尻に火が付き、死に物狂いでいろいろなインプットを行い、そして行動に移すことができました。

そのおかげもあってたまに、

「あ～、あのときの得意先の倒産があったらこそ、今があるのかな・・・」

「もし、そのまま父親の会社の跡継ぎで平凡に過ごしていたら今、この仕事してないだろうな・・・」

なんて邂逅することがあります。

振り返ってみると「得意先の倒産」が結果として自分の歴史の転機になったわけです。

よく、コロナ関連の報道で

「今、この時点での行動が、2週間後の未来を作ってます」

と多くの方が外出自粛を要請しています。同じように、コロナの渦中にいる今の行動・意思決定が数年後、数十年後の自身の未来を作る。そう考えると動かざるをえない気分になってきます。

「あ～、あのコロナ事変があったからこそ、今の自分があるのかな・・・」

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

振り返ってみたときにそう思えるような何か足跡を残していけたらいいなって今
思います。

具体的な行動指針はまだないですが、

「オンライン上での信頼を得る」

というポイントをより意識した情報発信をすることから始めたいと思います。

ただ、「ジューと耐え忍ぶ時期だ」という思考から、「今は未来を作る時期
だ」という思考への変化を促していただいた音源になりました。

貴重な音源をありがとうございました！
引き続き、よろしくお願いいたします。

(箕面のちいさな宝石屋 越野 泰明 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

「アフターコロナ音源」ということでしたが、*アフターコロナのみならず、人生を絶えずアップデートしていくために必要な心構えを学べたように思います。

「アフターコロナ音源」ということでしたが、アフターコロナのみならず、人生を絶えずアップデートしていくために必要な心構えを学べたように思います。

ピラミッド音源を聴いてすぐのリリースだったため、一瞬購入をためらう気持ちもあったのですが、余計な心配でした。

むしろ、ピラミッド音源の余韻が残った状態で聴けたことで、双方の学びがむしろ深まったように感じます。(膨大なインプットの後なので、まだうまく言葉に落とし込めていないのですが...)

中略

中でも特に印象に残ったのは、『不安定を極めれば安定になる』という箇所です。

あえて自分を不安定化させ続ける=変化させ続けることで、外的に内的にも変化対応力が身についていき、結果的に有事の際も心穏やかな状態でいられる、という意味だと解釈しました。

自分自身、運よく今回コロナによる仕事への影響はさほどありませんでしたが、確実に世の中が大きく変わっていく中で、新しい Doing 目標を実行、検証している最中でした。

音源の中で語られている、アフターリーマンの時の鮎谷さんの例も徹底的に参考にさせていただき、自らを作り変えていく作業をさらに進めていきます。

この音源を何度も繰り返し聞くことで、細胞レベルに浸透させていきたいと思います。

今回もありがとうございました。

(Web 広告 (自営) N. T 様)

■当音源 (アフターコロナ音源) はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

どんなリソースをどれだけ持っているかが、どれだけ重要か。鮎谷さんの教えが体現された音源だと感じました。

メルマガでこの音源のことを知った時、2年前に受講したセールスセミナーで学んだことを思い出しました。

「人が何かを望み、それを満たす商品があればどんな時でも売れる。ただし、その機会が訪れた時にその商品が準備できるかどうか。」

この音源がまさにそうだなと思いました。それもこれも、すべてはこれまで鮎谷さんが20年以上かけて蓄積してこられたリソースがあつてのことです。**どんなリソースをどれだけ持っているかが、どれだけ重要か。鮎谷さんの教えが体現された音源だと感じました。**

さて、音源で大きく印象に残ったのは次の2点です。

(1) 今動いている人は仮説を立てている人。

膨大な仮説があるから手数が増える。仮説をたてるためには、問いかけが重要。私は変化に対応するのが苦手な人間ですがさすがに今は「変わらなきゃいけない」と感じています。一方で「じゃ、どう変わればいいんだ」というのがわからなくて、気持ちばかり焦っていました。ゴールデン（ステイホーム）ウィークは「自分の棚卸」→「仮説をたてる」→「すべきことリストを作る」→「実行」これに取り組むと決めました。

(2) 蓄えがあるのが安心なのではない。「何があってもなんとかなる」という変化に対応できるリソースを持っていることが重要。

たまたまですが、私はもう少し自分のもっているリソースに自信を持っていいのではないかと思います、言語化する取り組みを始めていました。音源の中では「個の自立（自律）が非常に重要になる」という言葉が頻出していました。

「自分は何者で、社会・会社・家族にどんな貢献ができるのか」1人1人が考えることが（もちろん私もです）、個の自立（自律）のためには、必要だと思います。**たまたま取り組み始めた「自分のリソースの言語化」でしたが、この音源を聴いてそれをすべき意味が明確になり、私にとってはとても大きいことでした。**

この音源を聴いて、以前に受講したセールスセミナーのノートを見返し、目標音源を再度聴き直すことにしました。これから立てる仮説の幅が広がると思ったからです。

最後に、勇気をもらった言葉がありました。「変化に対応できるほうが穏やかに

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

なる」このタイミングでこの音源を発売してくださったことに感謝しています。
ありがとうございました。

(野田 真由美 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

コロナコロナと慌てふためく人が多い中、自分自身がどうあるべきなのか、この危機にあって何を学び、如何なる方向に進むのか。変化を拒絶するのではなく、受け入れ、変化、成長していく機会とせねばならないと強く思いました。

「経営とは変化対応業である」

「変化し続けることが常態」

という言葉が強く刺さりました。

コロナコロナと慌てふためく人が多い中、自分自身がどうあるべきなのか、この危機にあって何を学び、如何なる方向に進むのか。変化を拒絶するのではなく、受け入れ、変化、成長していく機会とせねばならないと強く思いました。

士業という仕事柄、仕事が即なくなるということはないのですが、相談の内容は変化しますし、人の求めるものも変わってきています。

特にオンラインの出城を作るということ、これまでも少しずつやってきたことではありますが、ここで一気に強化したいと思います。

変化する中におだやかさを得る。

これを目指して日々がんばりたいと思います。

本当にありがとうございました。

(弁護士 Y. O 様)

鮎谷さんが、常日頃メルマガなどでおっしゃっていた(と私が理解？曲解？していた)「変化に対応し続けるのが中小零細経営者の当然の務め」の主たる理由である不可逆の波が数十倍にスピードアップして押し寄せてきているのだということ。冒頭で、危機感を覚えました。お尻に火をつけていただき感謝です。

このたびは、セミナー音源をありがとうございました。
早速聞かせていただきました。

鮎谷さんが、常日頃メルマガなどでおっしゃっていた(と私が理解？曲解？していた)

「変化に対応し続けるのが中小零細経営者の当然の務め」

の主たる理由である不可逆の波が数十倍にスピードアップして押し寄せてきているのだということ。冒頭で、危機感を覚えました。お尻に火をつけていただき感謝です。

スタッフの在宅ワークについて、今より進めていかなければ、とぼんやり考えていたのですが、ただノートPCを買い増して、事務所のサーバーにアクセスできるだけでは不十分であること。作業を行う環境(紙の資料ををPDF化やCSV化するなど)を変える必要があり、ひいては自分の仕事の質を変えていかなければならないことに気がつきました。

オンラインによる情報発信について。以前、週1でとりあえずメルマガを出して尻すぼみになった自分ですが、やっぱりまたやらないとですよ、と感じました。

現状、目の前の仕事に追われていますので、GWに時間を取ってひとり作戦会議をやってみます。

今まで鮎谷さんから学んできたことの延長線上でありながら、面倒くさがついて言い訳をして後送りにしてきたことをあらためて突きつけられた2時間半でした。

今年で50歳代後半となり

「自分の世代ならもう逃げ切れるかも」

などと少しだけ考えていた自分を叱っております。

とにかく今朝から行動あるのみ、と考えまして、とりあえずで恐縮ですが、まずは音源の感想を送ります。

■当音源(アフターコロナ音源)はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今後の貴社のますますのご発展を祈念申し上げます。
ありがとうございました。

(H. W 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

アフターコロナを踏まえ、自分としてどう生きるのかを考えるきっかけになった大変価値のある音源でした。

鮎谷様
セカンドステージ様

今回も2か月ぶりに音源を購入させていただきました。

本当に今後はどうなるのか？

コロナが終わった後はどうなのかと漠然と考えていた時にピンポイントでこの音源が...即買いさせていただきました。

音源を聞けば分かりますが、なぜ自分がすぐに音源購入に至ったのか？それは私のバーチャルブレーンが鮎谷さんだからだと思います（笑）本当です。

本当に今回の音源を聴き、アフターコロナを踏まえ、自分としてどう生きるのかを考えるきっかけになった大変価値のある音源でした。

そして、今回、アフターコロナの鮎谷さんの仮説を聴いてそうだなと思った時点で、その仮説が自分の物語とつながりました。以前の音源で、「2020年からの警鐘」の話があったかと思いますが、その話もしっくりきました。

だから

「それを知ってしまったら、もうやるしかない」

という決意になったのです。

今回の音源の中で

「変化することが常態である。たまたまコロナが起きてそのスピードが大きく加速しただけ」

という話が心に残りました。

コロナ以前は、変化のスピードが緩やかでありあまり実感がなかつただけで、気づけば少しずつ変化していることに自分が気づかされました。そのことを考えていると、鴨長明の方丈記の冒頭を思い出しました。

「行く川のながれは絶えずして、しかももとの水にあらず」

この言葉どおり、世の全てのものは常に移り変わり、いつまでも同じものはないという言葉。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

だからこそ、変わらないと思って安定にしがみつくと（実はそれが不安定であり時代にとり残されていく）よりも、不安定の中を生きていく方が、自分にとってより考え行動することが変化変容につながり、それが結果として安定につながるという鮎谷さんのお話には納得しなかったです。

つまり、変化対応していくことが何より大事だということが大きな学びになりました。

そのためには、今、自分は何をすべきか？
この大きな変革期に、次の展開に備えて自分の本質をつくり変えていくことが大切だと感じました。

そして、それはコロナの影響（おかげ？）で今までよりも自分と向き合う時間があるはずだということ。

だから、様々な自己への問いとアフターコロナを仮説することで「まず自分が何をやるべきか？」、「自分の何を变えていくか？」を改めて考える良い機会になっている時期だと前向きに捉えることができました。

「コロナが終わってから考え行動するのか」
もしくは「今から仮説・予測して行動するのか」
同じ行動でもタイミングや時間の使い方で大きな差がでるはずだと。

具体的には、リモートワークが普及する中、アフターコロナは、もう日常的になっている可能性がある。それは、どこにいても仕事ができる環境でプロセスではなく成果が要求される時代になっている。だから、「自分を律することができない人」、「自分マネジメントできない人」にはしんどい時代ということ。
つまり、今まで以上に二極化が進み、行動できる人だけが生き残っていく時代になる。そう考えると、

「もうやるしかない」

という気持ちしかないです。

この不安定な環境下だからこそ、考え行動する。それができればアフターコロナは、自分にとって明るくなっているはずと信じて、これから、いや、今から行動しようと思っています。

今後ともよろしくおねがいします。
本当にありがとうございました。

（金融機関 R. I 様）

もう本当に言い訳をせず、動いていきます。
その衝動を与えてくださり、本当に感謝しています。

今回の新型コロナウイルス騒動については、皆さんもそうかと思いますが、私も影響を大きく受けていて、過ごし方がだいぶ変わりました。

そして、経済的にも、直接的にすぐ大きな影響を受けるわけではありませんが、今後自分自身が経済的に衰退していくことは不可避になった気がしています。

いまは、これからどう生きていくかを考えに考えていますが、どう考えてもアフターコロナでは生き方をさらに大きく転換しなくてはならないという恐怖感のようなものがあり、不安に苛まれる場面も大きくなっていました。

そんな時に、さすがというか、その不安を解消してくれそうな鮎谷さんの音源を見つけ、すぐに飛びついて購入させていただきました。
当然ですが、購入して本当によかったですし、価格を大きく超える価値を感じる事が出来ました。

印象に残ったのは、鮎谷さんは常時このような危機や不安に対処できるための準備をされており、今回の騒動のようなことがあっても全くビクともしないということです。楽観的にとらえて準備を怠ることが多いのですが、その姿勢は改めることに決めました。

また、「今が本当にチャンス」という言葉も胸に刺さりました。もちろん今は自粛をし、今後に備えるべき時だということはわかっていたのですが、大きく変容して世の中で、どう生きていくかを決め、その生き方のために、すぐにでも動くことが本当に大切だと思い知らされました。私も、面倒くさいとか恥ずかしいなどということは端に置いて、すぐに動くことにしました。

結局のところ、今がチャンスではありますが、これまでは動くことを怠ってきたツケがこの危機において回ってきただけで、やはり何事もないときにも動き、毎日自分がやると決めたことや、自分にとって大切なことをコツコツやっていくことだけが大事だということに気が付きました。

気が付いただけではダメなので、もう本当に言い訳をせず、動いていきます。その衝動を与えてくださり、本当に感謝しています。

ありがとうございました。
また次の音源も楽しみにしております。

(山本憲明 様)

とてもいい触媒となる音源をありがとうございました。

この度も楽しく拝聴させていただきました。
変化対応と安定を共存させる、というところがとても印象に残りました。
変化対応し続けることこそ安定に近づく、という言葉が脳内で回し続けることが大切だと思いました。

私自身もこういう状況だからこそより一層手数を増やして、アフターコロナに向けて自分自身を変化させていこうと思いました。とてもいい触媒となる音源をありがとうございました。

また引き続き宜しくお願い致します！

(Y. I 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

この度の「アフターコロナ音源」は、これから何をなすべきかという道標となる超一級品の音源でした。これまで購入させていただいて学習してきた音源とリンクしている箇所も多々あり、点から線、線から面、面から立体的に理解することができました。

コロナウイルス感染の世界的な流行に伴い、自分や家族を感染から守ること、そして仕事面でも接触を減らしつつも成果を残していかなければならないことに迫られることになりました。

そんな中でのこの度の「アフターコロナ音源」は、これから何をなすべきかという道標となる超一級品の音源でした。これまで購入させていただいて学習してきた音源とリンクしている箇所も多々あり、点から線、線から面、面から立体的に理解することができました。

特に印象に残った箇所と私なりの解釈を加えたものの箇条書きになりますが、以下のとおりです。

- 「経営とは変化対応業」であり、世の中の秩序が変わろうとしている中で、戦争体験のようにありえない日常が起こり得るという自伝にたくさん触れることで抽象度が上がり、「歴史は韻を踏む」ことに気が付き、変化に対応することができる。

- 「滅多なことは起きないだろう」という正常化バイアスが一番危険。

- コロナ禍の真っ只中に南海トラフ地震は待ってくれない。想像も付かないことが起きるかもしれない時に、起きないように祈るのか、準備をするのか。

- リモートワークの流れは元に戻らない。大きな変化の流れに適応するのか、抵抗するのか、変わらないように祈るのか。

「大変だ、大変だ」と騒いで何もしないのか、「大変だけど絶好のチャンス」「俺の時代が来た」と唱え、世界観を変え、物語を編んでいき行動量を増やすのか。

これからも日々精進してまいります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

(T. O 様)

ぼんやりと今回のコロナ騒動を眺めていた私としては何をすべきが明確になり、とても有意義な音源になりました。

この音源を聴いて、今まで避けていたオンラインのビジネスや居場所を確立しなければならなかったと思います。

石炭産業を例えにして、時代のトレンドの移り変わりをご説明していたのがとても分かりやすかったです。

今回のコロナは例外的でゆっくり進んでいた時代の変化が急に来たに過ぎないということでこの変化に自身を合わせらる人が次の時代で良いポジションを取れるというお話はまさにその通りであり、ぼんやりと今回のコロナ騒動を眺めていた私としては何をすべきが明確になり、とても有意義な音源になりました。

(Y. S 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

考える機会をもらった音源でした。ありがとうございました。

今回の音源では、経営とは変化対応業、経営だけでなくキャリアも人生も時代の変化に適応していくことだと再認識しました。小さな変化から近い未来を想像しながら、仮説とその準備をしていくことが大事だとも実感しました。

正月の例えは非常にわかりやすく、凧揚げや車の飾り、三が日は休みが普通だったのが、徐々に変化し、元旦営業が常態化し、昨今はまた休業みたいな変化があることなどは、変化しながらそのうち当たり前になっていて、その流れはまさに不可逆的、でもそんな近未来を想像するには、日々の変化を感じられる、観察力、アンテナのめぐらせ方なんだなあと、点と点が結びついた感じです。

また、知るからしか創造しえないという点も、頭の中のモヤモヤを言葉で整理させて頂いた感じで、言語化できたことはありがたいです。

変化しているのが常態化していく中で、滅多にないことが早いサイクルで起こる、まさに100年に一度という表現の事象が、10年くらいの単位で起きていることは、リーマンショックや天災などから明らかなようにもっと短いスパンで起きてくると思います。

そんな中で、何がチャンスか情報収集して時間軸を伸ばして考えるという視座は新たな気づきでした。鮎谷さんを含めてバーチャルブレインをどんどん増やして行こうと思います。

仮説として、人と会う機会が少なくなる中では、デジタルでのコミュニケーション、いかに発信して巻き込むか、自らの発信源を持つことはその視点では大いに必要だと感じました。

歴史は韻を踏む、ポジティブに捉えれば螺旋的発展ですが、危機や変化も同じように形を変えて起こるこれからの、死生観に直面する事なく育ってきた世代ではありますが、意識しながら行動して行こうと思います。

考える機会をもらった音源でした。ありがとうございました。

(山田和彦 様)

時流に合わせたテーマ選定で、語りの内容も非常に腑に落ちやすく、納得感の高いものでした。

(前略)

時流に合わせたテーマ選定で、語りの内容も非常に腑に落ちやすく、納得感の高いものでした。

今日のセミナーの最も重要なハイライトは？と問われたら、

「変化が常態であることを誰もが強く意識付けられた今、この特別な環境を千載一遇のチャンスと捉えて即行動あるのみ！」

という一文でまとめたいと思います。

今日も中身の濃いセミナーをありがとうございました。

(A. H 様)

行動のために言葉にする」言葉にすると不思議と行動へのエネルギーがわいてきます。なぜ、エネルギーがわいてくるのか？それは、年間プログラムへの参加を通じて、今は過去の意思決定の結果であり、未来は今の意思決定の結果である。そして、その意思決定は言葉で表現される。ということが体の中に浸透したからだと思います。

あらためて変化に対する自分のスタンスを言葉にすることができました。
「行動のために言葉にする」言葉にすると不思議と行動へのエネルギーがわいてきます。なぜ、エネルギーがわいてくるのか？それは、年間プログラムへの参加を通じて、今は過去の意思決定の結果であり、未来は今の意思決定の結果である。そして、その意思決定は言葉で表現される。ということが体の中に浸透したからだと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

※※※※※

今、変化は常態であると受け止めることが求められている。ただ、変化は人に不安や恐怖を感じさせる。人は、見えないもの、コントロールできないものを避けるために、正常性バイアスを働かせてしまう。そして、今の安定が永遠に続くものと思いつまむようになる。

しかし、昔も今もこれからも変化は避けることができない。変化から目を背けるか、しっかりと直視するか、そのどちらのスタンスをとるかで、行動は大きく変わる。ホメオスタシスは安定した状態を維持するために働くものであるが、変化している状態こそ安定した状態であると勘違いさせること、すなわちホメオスタシスをバージョンアップさせる必要がある。変化している状態を安定した状態にしてしまえば、変化を恐れなくなる。正常性バイアスが働くと、今の安定を脅かす情報が入らなくなる。

これからの時代、不都合な情報を避けること、それが最も危険なことである。人には想像できることには対処できるという能力が備わっている。そして、その想像力を触発するのは情報である。変化を当然とし、情報をもとに変化に対する仮説を立て準備し実践する。それを繰り返すうちに変化に対する免疫が出来てくる。一日でも早く変化に対する免疫を高めた人間が生き残っていく時代に本格的に突入した。今、求められているのは、変化から逃げないという覚悟である。

※※※※※

(川島 進一 さま)

今回の音声で危機に対する捉え方とその渦中にあっても自分に力を与えてくる言葉、進む道を見つけていく為の手がかりを得られました。

今回の音声は自分の現在の状況に肯定的な意味をもたせ、力を与える物語を編む一つの契機になりました。

今まで定職につかず、お金をためてワーキングホリデーをしに海外へ飛び出しましたが、ふとした機会に大学卒業後、順調に就職し、昇進して社会人生活を謳歌している同期や後輩たちの近況を知ると以前より大分マシにはなったものの、心乱されるものがありました。また個人の性質として安定を求める傾向や不安に感じることが人よりも強いにもかかわらず、みんなと違う道をおっかなびっくり歩いていることに居心地の悪さがどうしてもつきまといました。

音声の中で

「変化こそが常態」

「まとまった時間のとれる今こそ自分を作り変えていくチャンス」

という言葉に繰り返し触れることで、

「かえって今までウダウダ生活してきた分、背負うものもなく行動できる好機じゃないか？」

「自分の人生を作り変えていくタイミングが外的に、そして強制的に訪れたのならこの契機を活かすしかないのではないか？」

このような思いが他の方と同様、不謹慎ながらも自分の中で強く、存在感を放つようになり始めました。ケネディ大統領が言っていたように、「危機」という言葉は「危ない」という字と「好機」という字で成り立っており、また、「変化とは人生の法則である。過去と現在しか見ない人は、確実に未来を見失う」という彼の言葉と「変化こそが常態」という今回の音声の要点となる言葉が前述した自分の思いをより強固なものにしつつあります。

日記音源で述べられていたように名言に触れることの重要性をこの音声を通して再認識しました。今回の危機だけではなく、今後の危機管理と自分がとるべき行動を決める際に配慮する点を学べたのも大きな学びとなりました。業界や社会の今後を、自分よりメタ視点で見ている人の話を参考にし、自らの中で蓋然性の高い仮説を打ち立てて行動する姿勢を身に付けようと思います。

また物語音源の中で述べられていた、

「5年10年捨ててもいい。その覚悟を決めろ。70歳の自分から見れば、誤差でしかない。比較対象の問題。最終的にうまく着地すればいいんだから。」

この言葉が今回の音源の内容と結びついて、以下のように自分の中で編み直され

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

ました。

「70歳の自分から振り返ればこの期間で自ら仮説を立て、行動し続けたことはたとえその仮説が間違っていたとしても変化の真っ只中でも行動し続ける姿勢を身につける期間になる」

この言葉を変化に尻込みしそうになった際に自分に言い聞かせて行こうと思います。

個人的な事例ではありますが、帰国後に就職しようと思っている業界（酒造業界）では海外展開を進めているが、海外での主な消費場所はレストランであり、そのスタッフに製品の紹介を頼っていた面があります。しかし、今後デジタルでのやり取りの比重が大きくなっていくことを考えるとどんなに小さな酒蔵でも消費者に直接生産者がつながる術としてオンライン販売を一層強化していくこと、複数言語で商品へのこだわりやそこに付随する物語を生産者自らが語る必要性が高まるのではないかと今回の音声を聞いて仮説を立てることができました。

この方面ですでに行動している企業、もしくはシフトしていこうと考えている企業に就職し、個人としてもその為の能力を伸ばしていこうと、今後の方向性を定められました。

他の音声との関連については、この音声を聞いてますますピラミッド音声の購入の重要性を認識しました。自分の目標を書いて、たまに修正してはいるものの should や must が紛れているのか、それともそもそも自分の中で目標が変わってきているのか。イマイチ見返しても赤面するほど恥ずかしくなったり、心揺さぶられるものにならなくなってきた感覚があり、他の購入者の方の感想やメルマガから自らの目標を修正しようと試みている次第です。

自分の文脈に少々寄せ過ぎた感想で申し訳ありませんでしたが、今回の音声で危機に対する捉え方とその渦中にあっても自分に力を与えてくる言葉、進む道を見つけしていく為の手がかりを得られました。

今後不安で視野狭窄に陥りそうなときや、厳しい状況下で行動力が下がりがりそうになったときはこの音声での学びを自分に繰り返し刷り込んでいきたいと思います。

（山下 亮 様）

これからこの音源で得られることで、この人生の岐路で選ぶ未来も確実に変わるでしょうし、その将来にどれだけ多くの価値が生み出せるかと思うと本当に購入できて良かったと思っています。

鮎谷様

いつも深い内容のメルマガの発行をありがとうございます。

このコロナによる大きな変化でこれからどうしようかとあれこれ考えている時に拝見して、アフターコロナのタイトルから、今これを聴かなければいけないという直感に従ったのですが、今の時期に購入し、この音源の内容を思考回路にインストールすることができて本当に良かったと思います。

中でも、変化に対する考え方として

—経営とは変化対応業である

—変化が常態

—不確実性がアップする時に安定を求めるのは逆効果。自らを不安定化（多様性を確保）する方がかえって結果もよくなる

といった下りで、今人類が目の当たりにしている大きな変化・転換期に対する捉え方が大きく変わりました。

変化することが当たり前であるというのは知識として頭ではわかっているも、その変化のスピードが急激に加速してやってきた只中では、感情的にも振り回されそうになっていました。

ただ、鮎谷さんの言葉、そして言葉から伝わる熱量を通して、活字だけでは届ききれない音声だからこそ伝わってくるものがあり、自分の中でも変化に機敏に対応していこうという腹が決まりました。

実は音源の購入は初めてだったのですが、発されるメッセージは活字とは別の次元で、鮎谷さんの言葉と想いの熱量が、音声の周波数に乗って聞き手の深い部分と共鳴して、受けて側に響き届くという経験をしました。

まだ1回目が終わった段階ですが、これから何度も何度も繰り返し聞くことで、さらに深く定着し、聞くタイミングによってさらに違う角度から響くのだろうなと思っています。

これからこの音源で得られることで、この人生の岐路で選ぶ未来も確実に変わるでしょうし、その将来にどれだけ多くの価値が生み出せるかと思うと本当に購入できて良かったと思っています。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

メルマガを通したテキストに加えて、音源を通しての学びをこれからさらに取り入れていこうと思います。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

(営業職 N. U 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

この強烈かつ急速な変化は、私のこれからのキャリアにとって、まさに“願ってもない”チャンスだと今は捉えています。

「肚が決まった」

当方、企業研修講師を生業としています。独立してから4年、順調に売上が伸び、今年はさらなる飛躍を！と意気込んでいた矢先のコロナ。キャンセルや（実現するか甚だ怪しい）延期が相次ぎ、「仕事ってこんなにアッサリ無くなっていくのか...」と半ば呆然としていた時に当音源を聴きました。

思えば、独立してからの4年間は、受け身でした。

“クライアントのニーズありき”で“求められること”をし、“それなりの満足度”を得て、リピートを獲得する。そして、それを繰り返すことで、売上が伸びる。そんな中、“一定の充実感”と“結構な疲労感”を感じつつ、多忙な日々を過ごしていました。

オンライン化、知識・スキルの陳腐化の加速といった“いつか必ず来るであろう未来”は、頭の片隅にありましたが、「向こう5年はこのままでいけるだろう」と根拠のない弁明を自分にしながら、緊急で重要なことのみをこなして来たわけです。

そして、コロナ。一瞬で5年後がやってきました。

自分がいかに“かなり意固地なゆでガエル”であったかを痛感しています。

（皮肉なことに、自分が研修の中でよく受講者に“ゆでガエル”の話をしていたのに...）

この音源を聴くまでは、逡巡していました。

「自分からの発信を何もしてこなかったのに、今さら始めても...」

「発信するとしても何をすれば良いかわからないし...」

「思ったより早く収束して、元のように戻れるかもしれないし...」

で、“とりあえず様子見”を決め込んでいたわけです。

◇経営とは変化対応業である という言葉で、自分は今まで“経営者”ではなかったことに気づき、

◇世の中の99%以上の人はやっていない という言葉で、まだ遅くない！と勇気づけられ、

◇やり切れれば次の時代は生きやすくなる という言葉で、逡巡が消えました。

「肚が決まった」

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

この強烈かつ急速な変化は、私のこれからのキャリアにとって、まさに“願ってもない”チャンスだと今は捉えています。貴重な機会をご提供いただき、ありがとうございました。

(企業研修講師 J. H 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

変化変容するため大量行動するための気づき、危機感臨場感を得られたことに大変感謝しております。

鮎谷様

貴重な学びを頂きありがとうございました。

音源を聞かせて頂き急速に変化する環境において、変化変容対応についての課題へ向き合い行動、改善していく必要性が高い事象について次のような認識を強く持ちました。

「自分自身逃げれば逃げる程、変化対応を迫られ、好むと好まざるとに関わらず不都合現実が姿形となって現れ、追っかけてくることは間違い無い」

と危機感を強く持った次第です。

追いかけられ、必要に迫られ変化変容のための行動を起こすのでは無く自ら主体的、能動的に当事者意識を持って変化を追う側すなわち半歩先を行き、変化を常態化する側に回れば、コロナを機に激変しうる環境はピンチで無くビックチャンスに変わり、確変モードに入る期待値の高い事象（株式投資でいう集中投資機会）の意を強く持った次第です。

変化変容するため大量行動するための気づき、危機感臨場感を得られたことに大変感謝しております。

今後ともよろしく願いいたします。

（証券営業職 Y. U 様）

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

変化を常態化する、というのは重要ですが、未来を見据えてどのように変化するのか、自らと社会に向き合うことが重要だと認識させられます。自らの深い部分に問いかけを促す音源でした。

本音源は、目を覚ますのに最適です。

ぬるま湯につかっているのは、気づかないうちに取り残されるかもしれない。

変化対応を日常にすることにより、本当に変化するためのきっかけを与えてくれる音源でした。

変化を常態化する、というのは重要ですが、未来を見据えてどのように変化するのか、自らと社会に向き合うことが重要だと認識させられます。自らの深い部分に問いかけを促す音源でした。

ビジネスに向き合うにも動機・やる気が重要ですが、いつのまにか薄れていくビジネスでの理想の姿を思いださせてくれるきっかけとなりました。

(N. M 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今回の音源を通じて、とにかく「変化」し続けることの重みが腑に落ちましたので、引き続きチャレンジしていきます。

アフターコロナ音源で特に響いたのは、

「経営とは変化対応業。一般的な業種の抽象度を高めると変化対応業。これは経営に限ったことではなく。個人にも当てはまる。変化に対応するしかない、今の変化は不可逆的」

というメッセージです。

中小企業経営に関わる仕事をさせていただき、経営者の方とお話をしていますが、反応は2パターンに分かれています。

1. 資金を目一杯確保して、この状況が落ち着くまで我慢しよう（希望的観測）
2. この状況が落ち着いても、元の状態に戻るとは思えない。今のうちにあることをどんどん進めていこう。新しいことを始める時間があるのでチャンスです（健全な危機感）

鮎谷さんの音源を聞いていたおかげで、「この状況は不可逆的なので、元通りの売上水準に戻るとは考えられない。その前提で、この時間があるうちに打てる手を打ちまくっていきましょう」とお伝えすることができています。まわりに伝えることで、自分自身にも言い聞かせています。

また社内のメンバーにも、テレワークにより通勤時間がなくなったり、外出自粛で時間が生まれているので、勉強量を増やしたり、新しい習慣を取り入れたりするようにメッセージを伝えることができました。

この状況をチャンスと捉え、音源でもおっしゃっていた、「変化が常態になる」体質に変化できることができれば、大きな財産になっていくと思います。平時であれば、そこまで変化しなくても困らないことが多いですし、変わりたいと思ってもそれだけの時間がないと言い訳してしまいます。なので、今回のように期せずして時間が生まれた状況（このゴールデンウィークなどは特に）は、今までのあり方ややり方を抜本的に見直す良い機会です。

今回の音源を通じて、とにかく「変化」し続けることの重みが腑に落ちましたので、引き続きチャレンジしていきます。
いつも変化・変容をもたらしてくれる音源を提供して下さり、ありがとうございます！

（松本毅 様）

目標、日記、物語の各音源、また、先日のピラミッド音源と合わせて聞き、それらが血肉となれば、どのような時代になっても、毎日目標に向け、機嫌よく、幸せに、生きていける自分になること、確信いたしました。

鮎谷様、いつも貴重な音源、有難うございます！

本音源、アフターコロナの時代について、鮎谷様なりの予想が聞けるものと期待し購入しましたが、いい意味で予想を裏切られました。

もちろん、上記情報もありましたが、主になっているのは、アフターコロナがどのような時代になっても、それに対応して生きていくための、本質的、根本的な考え方についてでした。

目標、日記、物語の各音源、また、先日のピラミッド音源と合わせて聞き、それらが血肉となれば、どのような時代になっても、毎日目標に向け、機嫌よく、幸せに、生きていける自分になること、確信いたしました。

「経営とは変化対応業」

まさに、その通りだと思います。

上記言葉を意識しつつ、現在から、5年前、10年前、20年前から盛業している企業の遍歴や、活躍している芸能人の経歴等を思い浮かべると、事業ドメイン、自身の立ち位置を時代に合わせて見事に変えながら活躍し続けていることがよく理解出来ました。

自身の目標、核を持ち、充実した毎日を送りつつ、時代に合わせてしなやかに変化していく。

(逆に、時代に合わせてしなやかに変化するからこそ、自身の目標に向け、毎日充実して生きていける、ということかもしれませんね)

そのために必要な情報が詰まった音源でした。

繰り返し聞いて、血肉化していきたいと思います。

次の音源も、楽しみにしています！

(K. M 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今後、世の中がどのようなになるかわかりませんが、変化をすることが楽しい、ということを感じさせていただいた、今回の音源を購入し、とても良かったと思います。

今回購入させていただいたのは、まさに新型コロナウイルスの影響で仕事がテレワークとなり、時間ができたからでした。時間が生まれた→やった！チャンス→目標に沿った行動をしよう！→アフターコロナ音源販売した！→ポチ！です。機嫌よく生きたい（=目標）私としては、ポチするしかない音源でした。

■音源からの気付き

私も、時間が生まれたこの時期をどう過ごすのか、が非常に大切だと考えています。その考えにGOをいただいた感じがして、自信に繋がりました。

■音源の中で特に印象に残ったこと

変化を常態にするということです。安定、平和こそが異常であり、日々変化することを念頭に過ごし、極めることが安定への道であると捉えています。今、我々は変化の中にいる、という意識が大切で、変化の中にいるということは、昨日と同じことをしてもしょうがなく、新しいこと、今までと違うことをやってみることの認識をいただきました。

■音源を聞いての行動への移行

音源を聞かせていただいて、私も、小さなコミュニティの範囲ではありませんが、情報発信をはじめました。はじめて見ると、気付きが得られ、次はどうするか、を考えるようになり、考えた結果、行動する。良いサイクルが始まりました。感謝いたします。

今後、世の中がどのようなになるかわかりませんが、変化をすることが楽しい、ということを感じさせていただいた、今回の音源を購入し、とても良かったと思います。目標、日記、物語等の音源は、自分自身を中心としたものだと捉えられますが、今回のアフターコロナ音源は、外乱時（リスク顕在時）、よりチャンスを広げるには？という、外からの刺激へ、個としてどう向き合うか、に重きをおいた音源かな、と感じました。

今回も、ありがとうございました。

(M. Y 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

【変化はチャンス!】という言葉はよく聞かれるものではありませんでしたが、現状にとどまらず、常に新たなことを知り、想定しうる様々な事態に備えて最善を尽くすという行動をとっている、つまり変化していることを常態としている方にとっては、むしろ世の中が変化した時こそがチャンスなのであるということの本質的な意味が、すごく理解できました。

鮎谷さん、

この度も貴重な音源を購入させていただきまして、本当にありがとうございました。

私自身、今回のコロナの影響で、在宅ワークを余儀なくされ、大きな環境の変化を受けています。冒頭に出てきた、【経営は変化対応業である】という言葉がすごく胸に響きました。私自身、個別コンサルにて直接鮎谷さんより変化していくことの重要さを徹底的に叩き込まれておりましたし、変化しないことはむしろ怖いことである、という意識を持っています。

とは言え、やはり自分で自分をコントロールすることは難しく、そこには他人の力が介在しないとなかなか変化することは難しいということも痛感しています。そんな中この度音源とのご縁をいただき、とても背筋が伸びる想いです。

【変化はチャンス!】という言葉はよく聞かれるものではありませんでしたが、現状にとどまらず、常に新たなことを知り、想定しうる様々な事態に備えて最善を尽くすという行動をとっている、つまり変化していることを常態としている方にとっては、むしろ世の中が変化した時こそがチャンスなのであるということの本質的な意味が、すごく理解できました。

結局のところ、世の中が変化したときに対処しきれない人は、変化をすることに慣れておらず、ごく一般的に進んでいく物事に同化してしまっていて進んでいく他ないのだろうなと思います。そして最も大切なことは、【重心が低い思索】であるように思います。最近のトレンドなどいわゆる手法的なものは、その場しのぎのものであり、変化に対応するという本来の意味とはかけ離れたものであるように感じました。本当に予測のできないことが起こりうる現代において、変化に耐えうる体質を作っていくことが本当に大切ですね。

歴史は韻を踏むということを語られていましたが、結局のところ、不確実なことが起こり得るとしても、それを大枠として捉えると、本質そのものとしては変わらないのだろうなと思います。(うまく言語化できていないかもしれませんが...)この音源を聴くことによって、これから今すぐに取り組むべきことであろうことが、いろいろと想起されます。

単なる小手先だけのことでなく、しっかりと重心の低い、これからの予測できない不確実性の高い未来において、波及効果の高い行動をしっかりととっていき

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

たいものです。音源購入後、在宅ワークというある意味私だけの空間である好環境の下、おそらく20回は音源を聞いているのではないかと思います。音源の良いところは、聞く度にその時の自分の心の琴線に触れるものが変わっていくということ。毎回聞くたびに大変学びになります。

これからの陸続と続くであろう（笑）音源販売を、心より楽しみにしております。

いつも本当にありがとうございます。
引き続き個別コンサルでもよろしく願いいたします。

（村田佑樹税務会計事務所 村田 佑樹 様）

この音源からはノウハウといったその場しのぎのようなものではなく、いつの時代でも、何が起きても使えるような普遍的なものを身につけることができたのかもしれない

平成進化論セミナー事務局の皆様

今回アフターコロナ音源をお聞かせいただき、今回のコロナを乗り切るためのエネルギーが湧いてくるような感じがしました

私の経営する会社は宿泊業でまさに今回のコロナの影響を直撃で受けております
本当に絶望する時もありました。不安で眠れなくなることもありました

今回の音源だけではなく、他にも何か誰かしらのノウハウで乗り越える術はないものかと色々とネットをウロウロと探し回ってはそんなものは見つかるはずもなく、ただこのアフターコロナの音源だけは違いました

この音源からはノウハウといったその場しのぎのようなものではなく、いつの時代でも、何が起きても使えるような普遍的なものを身につけることができたのかもしれない

賢者は歴史から学ぶ、愚者は自分の過去から学ぶ
安定を求めれば求めるほど不安定になる

たくさん言葉をメモしましたが、今の僕はこの言葉にエネルギーを感じ、これから何をすれば良いのか、どのように感じながら生きていけば良いのか、行動の指針を教えてくださいのような気がします

アフターコロナ音源を何回も聴いておりますが、聞くたびにエネルギーが湧いてくように感じます

心の支えとして、行動の指針として、不安定に強き漢を目指したいと思います

今回も大変ありがとうございました
いつものメルマガも楽しみにしております

(K. M 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今ってものすごいチャンスだよね」という感覚を得ることができました。

まず「今ってものすごいチャンスだよね」という感覚を得ることができました。

世間一般(?)にテレビから情報を得て恐怖に縛られて何も身動きとれずにいる人が多い状態ですがその中で淡々と行動をしていけば必ずなにかしらにはなるよね、という感覚です。

私は会社員であるため、自営業の方と比べて自粛期間の影響を直接は受けにくい状況です。

そのため「会社員でよかった！」と思う部分も少なからずありますがこの感覚・この状況こそがかなり危険な状態なんだろうな、と気づきました。

会社員→安定している→今の状況に対応せずとも会社にとどまっていればなんとかなるという、実際は崖っぷち状況なのに目をつむって自分を安心させようとする、という状態に思えたからです。

自営業・経営者の方がどんどん変化に対応していく中で、上記のような考え方で会社に依存していればどんどん自分自身の価値が毀損されてゆくのはあきらか。そんな将来の自分にはなりたくないなので、これから常に行動→フィードバック→仮説を立てるというループを回して変化への適応力を上げていく、というスタイルで行動して行きます。

無意識に、一つの可能性に全額かける、をやっていたとしたら危険ですね^^;;

(M. M 様)

合間あいまに取ったメモを後で見返してみたら、エッセンスにあふれた言葉がたくさん残ってしまっていて、読み返してみると、改めてすごい内容だったなと感じた次第です。

鮎谷様
セカンドステージの皆様

「変化対応業」たる会社に長年勤めておりますがわが業界も時代の流れに翻弄されてきております。

このコロナ禍での会社を取り巻く環境の変化を悲観的に受け止めるのではなく、どのようにプラスに捉え変えてゆけるかを考えているところに、今回の記事を見し「音源」を購入させて戴きました。

「不可逆的な変化」というものは意識する、しないに関わらず、日常の生活を送っているのですが、生活が一変してしまうような、大きな環境の変化はこれまでにあまり経験したことがなく、どうになってしまうのだろうかという不安が先に立ってしまいます。

しかし、その変化や現実を受け入れることが先ず必要で、そうすることで希望の光が差し込んで、前進できるのだと改めて認識した次第です。メモを片手に、セミナー会場にいるがごとくの緊張感をもって耳を傾けました。

話はすごく聞きやすく、聞いているうちに親近感も湧いてくるほどでした。いろいろな要素・ネタがちりばめられていてすごい情報量でしたので、聞き終わった後はしばらく、頭が飽和状態となっておりました。

合間あいまに取ったメモを後で見返してみたら、エッセンスにあふれた言葉がたくさん残ってしまっていて、読み返してみると、改めてすごい内容だったなと感じた次第です。今、2回半ほど聞き返している状況ですが、これからも、折に触れて耳を傾けてゆきたいと思っていますところ。

購入の際には、こちらの手落ちがあり、大塚様にはお手数をおかけしましたが、購入してよかったなと思っております。ありがとうございました。

(平峯 範人 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

これから到来する、令和戦国時代（下剋上）において、ゲリラ戦を有利に進める、『ガイドブック』となる音源です。

これから到来する、令和戦国時代（下剋上）において、ゲリラ戦を有利に進める、『ガイドブック』となる音源です。

・経営とは「変化対応業」である
・リアルとネットの融合が、本格的に加速していく
・時代の「一歩先」ではなく、「半歩先」を行く。（I-PHONE の事例も挙げてくださった、
ご質問者様のおかげで、より理解が深まりました）

上記の内容（メッセージ）が、特に心に残りました。

音源の後半では、平成進化論をビジネスメルマガの体で、発信されていた理由、ある時期を境に、抽象度の高い（人生メルマガ）発信にシフトされた経緯など、改めて、メルマガの新しい側面を発見できた機会にもなりました。

また、始終、何度も聴こえてきました、「すでに起こった未来」のキーワードを通じ、「すでに起こった未来を生きている人」「すでに起こった未来に向けて準備をしている人」「すでに起こった未来に無自覚なく生きている人」世の中には、この三種類の人が存在しているような気がします。

この音源は、すでに起こった未来の世界の住人でいらっしゃる、『鮎谷ランド』（TDL っぽく）を体験できるパスポートですね。何度も聞いて、アフターコロナの世界を歩いていく、一つのコンパス（指針）にさせていただきます。

鮎谷さん、今回も、貴重なお話をありがとうございました！

（井出大輔 様）

常におこるであろう世の中の変化について語られた内容だと思いました。自分がどれほど未来の変化に対して行動をしていないか、準備をしていないかが分かりました。

今回音源購入を決めた目的は、コロナの影響下で、どう考え、どう行動をしたらよいのか、その指針を得たかったからです。

実際に音源を聞いて、コロナの影響による変化対応というよりは、常におこるであろう世の中の変化について語られた内容だと思いました。自分がどれほど未来の変化に対して行動をしていないか、準備をしていないかが分かりました。

大変勉強になりました。

すこし話が変わるのですが、それらに対し、どうを考えて、being、having、doing 目標 に落とし込んでいけばよいかも、以前よりもスムーズに考えられるようになったと思います。これはピラミッド音源を聞いたおかげです。

他の方の感想でもいわれていますが、ピラミッド音源を聞いたおかげで、今回の音源の価値もより理解できるようになったと思います。このタイミングで、ピラミッド音源と今回の音源を聞いたことはとてもありがたかったです。

ありがとうございました。

(Y. N 様)

何かと不安になる事は多いかと思いますが

- ・コロナリセットで下剋上したい
- ・コロナ不安をエネルギーに変換したい
- ・コロナピンチをチャンスにリフレームしたい

そんな方々に聴いて頂きたい音声です。

本業がコロナの影響を大きく受けました。

しかし、幸い、資金に余裕があり仕入れや掛け金がないビジネスだったので緊急事態宣言と同時に本業を2週間休みに。

今まで生活に困らない売り上げがありましたでしたが自分の強みが極一部しか活かせておらず長年「これじゃない感」に苛まれていました。

正に鮎谷先生が言われていた「キタコレ！」不謹慎かなと思っていたのですが実はワクワクしていました。

過去の目標設定三部作や多くの教材でいつか作りたいと思っていたビジネスを一気に作成、稼働する事が出来ました。

今まで、本業で中途半端に稼げてしまっていたので決断ができずにズルズルしていたことに気づきました。コロナが決断の起爆剤になった事は言うまでもありません。いつかやりたいと思っていたビジネスアイデアが次々と形になり既に見込み客からの連絡が来ています。

何かと不安になる事は多いかと思いますが

- ・コロナリセットで下剋上したい
- ・コロナ不安をエネルギーに変換したい
- ・コロナピンチをチャンスにリフレームしたい

そんな方々に聴いて頂きたい音声です。

((株) ライフ・プロデュース 代表 野上浩一郎 様)

保守的な自分にとって、ドキッと話す話ばかりでした。

鮎谷様

この度は、貴重なお話を聞かせて頂き有り難うございました。

今回の音源を聞かせていただいて一番心に残ったのは「変化こそ常態である」という言葉でした。保守的な自分にとって、ドキッと話す話ばかりでした。

炭鉱のたとえ話でも、現代からさかのぼって話を聞くと変化することが大切なんだと納得は出来ますが、「もし当事者だったら」と考えると、おそらく変化を嫌い、そのままの状態であることを願いつつ過ごしていたと思います。今回、世の中に対する認識が間違っているから、保守的な自分から抜け出せないのだと分かったような気がします。

鮎谷さんが良くおっしゃる「変わりたいのに変わらない」人というのは、「世の中は変化しない」と思っているから自分を変えたいという動機が希薄になっているから変わらないのではないかと思います。

「変化こそ常態である」と認識すれば、おのずと自らを変えようと行動が変わっていくはずです。私自身も大変なこと（変化）を大きく変わるチャンスと捉えて新しいことにシフトしていくことで、自分自身を作り変えていくようにしたいと思います。

その他、様々な事を教えて頂きましたが、世の中を「変化こそ常態である」と認識することが私にとっての出発点であると教えて頂いた音源だと思います。

「変化こそ常態である」という事を忘れず、変化に対応できる人間になれるように日々精進していきたいと思います。この度は、有り難うございました。

(林 様)

「なるほど、こういうことか！」とまずは明確な指針を示していただいたことは大きな一歩となりました。

変わり続けることがメインテーマであるこの音源を拝聴してまず感じたのは、本や講演などあらゆるメディアで「変わり続けること」がより良い人生を望む者にとって必須であることが語られていますが「頭ではわかっているが、思うように体が動いていない」状態の私にとって最も刺さったのは「人間は変化に抵抗するものだから、変化する人間になるには、「変化していることが常態」となり、ホメオスタシスに「変化し続けている状態」を守ろうとさせることが必要である」という部分でした。もちろんこの言葉に触れただけでこれを常態とすることはできませんが「なるほど、こういうことか！」とまずは明確な指針を示していただいたことは大きな一歩となりました。そして「変化していることが常態」となっている自分を目指して一歩一歩進んでまいります。

そして、変化なくして下剋上なし、というのもとても勇気づけられるというか、希望が持てるものでした。資本主義では常に富の移転が起き続けているものと理解しておりますが、やはり下剋上が必要な私にとっては、このコロナ禍をその大きなきっかけとするべく、一発逆転・・・といっても宝くじを買うような心的態度ではなく、きちんと目標を設定し、なぜ下剋上が必要なのかを明確にし、そのための小さな行動をひとつひとつ積み重ねた結果としての一発逆転を目指します。

また、常在戦場の心構えと穏やかであることは両立できるとおっしゃっていたことも私にとっては心強いメッセージでした。

話しは逸れますが、目標設定音源の頃から鮎谷さんは音源の感想を「学びの宝庫」と表現されており、本当にその通りだと感じていて、毎回熟読しておりますが、特にピラミッド音源を拝聴して以降、格段に理解度／吸収度が上がっているように感じております。

また日々のメルマガも、音源フォローの意味合いが特に濃い回が多々ありますが、最近「凄いな、コレは！」と感じることが頻発しております。あえて挙げると6075、6076、6079、6080(ほぼ全てですね笑)は特に凄かったと感じました。6079回は10,200字とありましたが、ちょっと調べてみたところ、ビジネス書1ページは約600文字前後のようなので、約17ページ！しかも内容が超濃いので体感としては3倍くらいに感じます、どうりで疲れるはずですよ(笑)。

さらに話は逸れてしまいましたが、それはなぜなのかと考えみて、サイコロのようなものなのかもしれないと思いました。1の目を見て、サイコロだ！とわかる人もいれば、2の目を見てわかる人もいます。あるいは1と3と5を見て、理解する人もいます・・・とすると、鮎谷さんの日々のメルマガや他の人の感想はそれぞれ私が見えていなかったサイコロの他の面を見せてくれているのか

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

もしれない、などと思いましたが、内容が濃くて少なくないエネルギーが必要ですが、これからも日々のメルマガや感想から刺激をいただいて、魂の入ったピラミッド構築と日々の行動量の増大に全力を尽くします。

改めて、今回の音源もありがとうございました。

(K. K 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

このアフターコロナ音源は当然万人にお薦めなのですが、特に私のような危機感の乏しい方にお薦めします。「今はまだ大丈夫」と思っているうちに自分の周りのお湯が一瞬で沸騰し、「茹でガエル」になってしまう前に聞くべき音源です。

「このコロナのピンチはチャンスだ」と鮎谷さん含め多くの方が仰っています。当然私も「その通り」と頭では理解し、何とかそうできるようずっと考えてきました。ただ、正直に言いますと、どうも自分の中で言葉が上滑りしてしまい、腹落ちして行動するに至りませんでした。私の仕事に対するコロナの影響が、大変幸いなことに、現状ではまだそれほど酷くないため、本当の意味での危機感・恐怖心が私の中に無かったからだと思います。鮎谷さんが何度も音源で仰っていたように、知識と想像力の不備による行動の欠如です。

このアフターコロナ音源は当然万人にお薦めなのですが、特に私のような危機感の乏しい方にお薦めします。「今はまだ大丈夫」と思っているうちに自分の周りのお湯が一瞬で沸騰し、「茹でガエル」になってしまう前に聞くべき音源です。

私にとってこの音源の最大の価値は、自分の人生にとって極めて有用な世界観を腹落ちさせるべく、強く感情を誘発して頂いたことです。その世界観とは「世の中は変わる。そのスピードは誰にも分からないが、変わることは間違いない」、あるいは鮎谷さんのお言葉では「変化は常態である」というものです。「自分が変化を知覚できない＝変化が無い」というのは幻想であり、また今回のように歴史的な大変化は一瞬で起こりうる。もうこれは「真理」なので抗ってはいけません。現在危機感・恐怖心があろうがなかろうが、今後の人生は、この世界観を基にデザインしていかないと大変なことになりかねない、と心底思いました。もうこれだけで、軽く音源の値段の10倍の価値を頂きました。

新しいことを始めて変化するのは正直しんどいです。コンフォートゾーンの中でぬくぬくとやっていきたいと思うことは、もう人間の性であり、どうしてもありません。ただ、成果を残す人と遺さない人の重要な違いは、コンフォートゾーンの呪縛から逃れられるかどうか、とはよく言われます。そしてこの音源は、このコロナ禍をきっかけとして、今後コンフォートゾーンにとどまらない人生を送るための強力なサポートになると思いました。まさに「ピンチをチャンスに」です。

今までそれなりに上手く人生を渡ってきたけど、でも何か満たされない思いがある人にとってのカンフル剤になりえると思います。というか、私はそのように受け取り、諦観の念と共に決意を新たに、今までやらなかった新しい行動も始めました。そして上述のように、この変化の発端は、感情喚起による世界観の変化です。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

また、次のことも強く感じました。この音源は、コロナ禍を扱ってはいるけど、本質的には原理・原則を述べている音源であると。結局のところ、平時であれ非常時であれ、程度の差は多少はあれど、基本的な原理・原則は変わりません。なのでこの音源をコロナのためだけに聞くのは勿体ないと思いました。確実にコロナ後の平時においても多くを学べる音源であり、暫く先にこの音源を始めて聞く人がこの内容の普遍性に唸らされることは、間違い無いと思います。むしろそういった時に、この音源の価値、ならびに鮎谷さんの凄みにより強く浮かび上がるのかもしれませんが。

コロナ禍という「具体」を取り扱いながら、人生における本質的に重要なものを「抽象・普遍化」してコンテンツに落とし込まれた様は、もちろんテクニカルに見ればエレガントということになるのですが、何と云うか、そういった言葉よりも、鮎谷さんの執念のようなものまで垣間見えた気がする、ということ言い過ぎてしょうか。でも、何かそのような感じさえ受けました。

既に長くなりましたが続けます。上記のことに加え、私にとってこの音源のもう一つの大きな価値は、やはりこのコロナ禍における「希望提供」です。ただその希望は、当然表面的な慰めなどではなく、「やるべきことをしっかりやれば大丈夫（でもやれなかったら駄目）」という、骨太で誠実な希望です。そのための具体的な方策について特に私に刺さったことを一点上げますと、「変化対応し続ける存在」というのが鮎谷さんの Being 目標にあるということです。まず「変化対応は Doing じゃなくて Being か」と大変目から鱗でした。そして変化対応に関しての鮎谷さんのピラミッド内のモジュールを全コピーしようと思いました。こんな大層なものを一から自分で作り上げてたら、変化初心者の自分は間違いなく出遅れてしまいます。試行錯誤している場合ではありません。「守」一択です。

今後この音源を何回も聴いて、音源のステップメールをフォローアップで何回も読んで（物凄く役に立っています）、私の想像する（ということになってしまいますが）、鮎谷さんのこのモジュールをしっかりとインストールしていきます。惜しげもなくこのモジュールを公開して頂いた鮎谷さんには感謝しかありません。

以上です。自分の学びを優先するあまり、このような長文になってしまいました。申し訳ありません。

今回も、本当に素晴らしい音源、凄く良い買い物でした。心よりお礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。今後とも、よろしく願います。

(Y. H 様)

「生きている間に大したことが起こるはずがない」という思考回路が無意識のうちに出来上がっていたことを今回のアフターコロナ音源で気づかせていただきました。

今回、アフターコロナ放談会音源を購入させていただくにあたって、当音源リリースの発表から1か月近くが経ち悩みに悩みを重ねた上での意思決定となりました。その決定を下したのも「25%オフ」での購入が可能となる期限当日（5月6日）23時台という、なぜそこまで粘ったのかと我ながら思うタイミングでした。

さらに期限当日の号外メルマガで「悩むことで失われる3つの希少資源」との題名が冠されて送られてきたときには「これはまさしく私のことだ」と思われた次第です。そうして購入した音源を聴けば聴くほどに「ああ、もっと早く買う意思決定をしておけばよかった」と意思決定を後回しにした自分自身を恥じたのでした。

※現時点で4~5周しております

肝心の音源についての感想ですが、やはり「変化が常態である」の言葉が刺さりました。これまで自分が生きてきた時代というのは幸せな時代で、直近でもリーマンショックは学生時代でほぼ無関係、東日本大震災は被災地から離れていて影響は少なかったのです。こうした自分自身の経験を基にして「生きている間に大したことが起こるはずがない」という思考回路が無意識のうちに出来上がっていたことを今回のアフターコロナ音源で気づかせていただきました。

また、鮎谷さんが紹介されたドラッカーの言葉「変化の只中であっては変化していることに気づけない」にも大きな衝撃を受けました。まさしくいま起こっているコロナによる変化は「後になって気づく」のが多数派であり、同時に、「そうになってしまってからでは遅い」のだという危機感によって目が覚める思いでした。

だからこそ、目下の変化をつかむべく、気づくのを生業としている方々の書籍（新書）を読むなりして「すでに起きた未来」を感じ取り、「その未来から見て今やるべきことは何か」を逆算で考えることが必須であると思いました。

どんな時代にも水先案内人は存在しており、その方々が持っている考え方はおそらくビスマルクの「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」によるのだろうなと感じております。アフターコロナに目を向けるようになってからは、明治維新や第二次世界大戦といった歴史の転換期にどのようなことが起こっていたのか、自然と意識が向き、当時の出来事を俯瞰的に理解しようとしています。この思考様式がアフターコロナを生き抜くための鍵になると信じ、邁進してまいります。

最後になりますが、今回も貴重な思考の鑄型を提供いただき、誠にありがと

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

うございました。

また、締切直前の申し込みにも関わらずご対応いただきましたスタッフの皆様にも感謝申し上げます。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

(小野貴彦 様)

コロナが発生してから、内向きになり、将来に対して不安な気持ちになることもありましたが、チャンスだと思うことで、前向きな気持ちになることができました。

音源をお聞きし、比較的安定していると言われている業界の会社に身を置いていたため、コロナについても大して危機感を持っていなかったことを痛感させられました。

「変化することが常態」「ピンチをチャンスとして捉える」という言葉が印象に残りました。コロナが発生してから、内向きになり、将来に対して不安な気持ちになることもありましたが、チャンスだと思うことで、前向きな気持ちになることができました。

人間関係もオンライン化に移行するため、情報発信が必須ということについては、非常に納得感がありました。ブログや SNS で発信しても3日坊主で終わっていましたが、改めて必要性を認識したため、仕組みを作って継続していきたいと思います。

自立の精神を持つことが大事とのお言葉がありましたが、全てにおいて土台となる考え方だなと思いました。会社などでも他責思考になってしまうこともありますので、自分を省みて改善していきたいと思います。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

(T. H 様)

音源の恩恵をやっと享受できる様になってきたところに今回の音源でやっと自分の中で「変化変容が常態」、変わることが当たり前すぎて、変わるとへの抵抗がなくなるところへの入り口に立てたような感があります。

この度も気づきが多く、買ってよかったと思える音源をご提供いただきありがとうございます！

この音源がリリースされた直後は、毎日のように案内があったにも関わらず、「自分には関係ないかな」とポチッとばかりしてました。
今回のキャンペーンが出たときには、今を逃したら後悔するという想いに駆られ、ポチッとしていました。

鮎谷さまの言葉は込められている熱量が高く、自分がそこに向き合えるだけの状態になっていないとまったく入ってこないということを今回、受け手として感じるものがございました。

アバター音源→インタビュー音源→同床異夢音源→人生ゲーム化音源と直近の音源を聞き続けて、ブログでの発信を毎日一回は続けられるようになってきています。

それでもふっと休もかなという悪魔の囁きが脳に浮かぶときがありました。毎日音源を何かしら聴いていると、その言葉が浮かんだ自分自身を叱責することができるようには自分を躰けられる様になってきています。

音源の恩恵をやっと享受できる様になってきたところに今回の音源でやっと自分の中で「変化変容が常態」、変わることが当たり前すぎて、変わるとへの抵抗がなくなるところへの入り口に立てたような感があります。

上記に上げた一連の音源で伝えられていることの根源を自分の中で感じる事が出来たためです。この音源で語られている常在戦場でありつつ、穏やかみたいな相反する目標を達成していくためにアバターを操り、コミュニケーションのとり方に気を払いつつ、ゲーム化して動いていく。

アフターコロナの音源が抽象度が高く、他の音源が具体化として補完しているような印象を受けました。単体でも効果が高いものが連合艦隊になるとそれぞれの強みを生かした布陣となり。自分の中での古い意思決定基準を殲滅している感があります。

在宅での仕事は家族や会社の打ち合わせ以外の人との接点を鮎谷さんの音源のみにできるのはコロナの恩恵の一つかもしれません。

物理的に家族以外に接しないため、外からのインプットが音源にすることで、自分の思考に与えるノイズがない。その状態で聴く今回の音源は自分

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

の理解が足りていなかったところにすっぱり収まってくれました。収まった場所が、自分に対しての変化変容のエンジンとなりそうです。

今回も学びの多い音源をありがとうございました！

今後とも宜しく願いたします

(片野 敬勇 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

長い時間をかけて思考の OS を書き換えてきて、自分のこれまでの認識に自分で疑問符を打つことができただけでも「聞いてて良かった鮎谷さん音源」と感じました。

今回、アフターコロナ音源を拝聴させて頂きました。
届いてすぐに聞いたのですが、自分自身が「Doing」のところに課題を持っていたため、返信が遅くなってしまいました。申し訳ありません。

今回、明確に理解できたことは目標は「Being」「Having」も動的なものだということです。この2つを静的なものとして捉えていたため、Doing に結び付かず、行動も止まっていたのだと認識しました。

目標の3つの階層が全て動的で、しかも外部環境もダイナミックに動いているからこそ、学び続け、行動し続けることが最も費用対効果の高い投資になるのだろう、と考えました。

特に「Having」を静的なものとして捉えていたために、握りしめていたものが価値や成果に結び付かず、物理的なものにいたっては価値が低下したり滅失すらしているものもありました。

鮎谷さんがおっしゃるレベルにはまだまだ到達できず、理解度すら怪しいと思いますが、長い時間をかけて思考の OS を書き換えてきて、自分のこれまでの認識に自分で疑問符を打つことができただけでも「聞いてて良かった鮎谷さん音源」と感じました。

人生は本当に学びの連続です。
不甲斐ない自分にガックリすることばかりですが、いつまでも成長できることを唯一の希望にして参ります。

鮎谷さん、皆様、引き続きよろしくお願ひいたします。

(Y. O 様)

初めて聞いた鮎谷さんの声は、とても耳馴染みがよくて、お話もわかり易かったです。ありがとうございました。

鮎谷 周史 様

初めまして、福岡県で行政書士をしておりますM. Nと申します。
税理士の村田佑樹さんから紹介されて、鮎谷さんのメルマガを登録して5か月が経ちました。この度、勇気を出して、初めて音源を購入し、【アフターコロナ音源】を聞かせていただきました。ありがとうございました。

メルマガに載っている皆様の感想は、どれも素晴らしい文章力なので、私の稚拙な感想をお送りするのはためらいましたが、音源を聞いたからには、感想をお送りしなければ、それはそれで鮎谷さんに失礼になるのではないかとも思いましたので、感想を送る決心をしました。

一番心に響いた言葉は「経営とは変化対応業」であり、「変わるのには負荷がかかるので、守りの人にはきついが対応しないと置いていかれる。」ということです。・・・まさしく私は「守りの人」ですが、そんな私でもこのコロナがきっかけとなり、今後様々なところに影響を与えていくだろうなということは漠然とわかりました。でも、具体的に自分が何をどうしたらいいのかがわからなくて、5月の連休後半、悶々と過ごしていた時に、【アフターコロナ音源】のご案内があり、「何か変わるきっかけになるかもしれない。」と思い購入をさせていただきました。

★★★私の気づき★★★

「変化こそ常態である」・・・変化し続けることに慣れていく！
「まわしている言語に気を付ける」・・・大変だけど → チャンスだ！！(^)♪
「自分のマネジメントができるようになる」・・・何を变えるべきか考えることが大切だ！

上記、気づきを受けて、行動しないと意味がないので、できることから始めます。

まずは、オンラインでの相談をスムーズにできるようになるための体制作りに着手しました。子育てをし始めて7年が経ちますが「大変だ、大変だ」とこぼしてばかりでした。ここでも自分が変化対応していくしかないんですよね。気づくのが遅すぎました(笑)。発する言葉に気を付けて過ごしていきたいと思います。私は、ビーイング目標がまだまだボヤっとしているので、ビーイング目標設定をしっかりと決めなき

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

やと

思いました。最後になりますが、初めて聞いた鮎谷さんの声は、とても耳馴染みがよ
くて、お話もわかり易かったです。ありがとうございました。

(行政書士 M. N 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今まで以上に自分のアンテナを研ぎ澄まし、変化への対応をすすめていきます。

お世話になっております、アフターコロナ音源を購入したKと申します。
大変遅くなりましたが、音源の感想をお送りします。

私自身も今回のコロナの影響で、初めてテレワークをしております。

職場のボスは76歳のかなりのご高齢で、当初、時差出勤やテレワークもなかなか理解いただけず不安な日々をおくりました。

しかし、そこはなんとかご理解いただき、在宅勤務を勝ち取ることができました。

私はコロナによる影響に関して当初から世の中に対してかなりのインパクトがあるだろうなということは想像していたのですが、ではアフターコロナに関してはなかなかな想像が付きませんでした。

そんな中、鮎谷さんのアフターコロナ音源が発売され、もの凄い情報量をおもちの鮎谷さんが果たしてアフターコロナをどのように考えているのかをお聞きしたく購入した次第です。

聞いた感想は、やはり大きな変換点になることを確認させていただきました。
そしてその大きな変換点に対して自分自身の仕事や生活、人との付き合い方など大きな変化に対しても意識して対応していかなければいけないということでした。

特に、今までの経験則だけでは駄目で、いかにこの変化をプラスの方向に向けていけるかの考え方を確立し、行動していけるかがカギとして感じました。
なんとなく終息に向かいそうな空気が出てきましたが、今まで以上に自分のアンテナを研ぎ澄まし、変化への対応をすすめていきます。

この度は貴重なお話ありがとうございました。

(G. K 様)

今回の音源を聴かせていただいて、正直、焦りを覚えました。

今回の音源を聴かせていただいて、正直、焦りを覚えました。

その理由は、自分自身を認知してもらうための情報発信の手段としてブログや Facebook、Twitter などのデジタルツールを全く使っていなかったことの重大さを気付いたからです。

今までは、新しい出会いを求めて、会合や交流会などのリアルの場合において、業種や出身地や学歴や趣味などの言語化しやすい情報で自己紹介し、連絡先の交換をして関係構築の最初の一步が始まり、そこから電話やメール、個別の対面など重ねて、お互いのことを知っていく。

そのようなプロセスを経て、関係が強くなり、それが新しい出会いやビジネスを生み出したりと好循環がありました。

このリアルの場合においては、お互いの話し方や表情、呼吸リズムや立居振る舞いなどを感じ、「何となく合う」という印象を交換できるということの良さがありオンラインでは難しいように感じていました。

そういったこともあり、あまりデジタルでの情報発信には積極的になっていませんでした。

というより、正直なところは「やってみたい」という気持ちはあったものの自分の文章力の拙さや無知などが知られるのが嫌で起こりもしない炎上やデジタルタトゥーの心配を言い訳に逃げていました。

でも、いつまで続くかわからないこのコロナ禍で、何もしないで収まるまで待つことはしたくないので、せっかく機会として「よし！ブログでもやってみるか！」と思い、いざやってみると、非公開の日記とは勝手が違い、当たり前なことだけれども、言葉の選び方が慎重になるといふか、非常に難しく、わずかな文章でもかなりの時間を使ってしまいました。

やってみて感じたのは自分がどのような人間であるということ発信することまではできても私のようなゼロベースで始める者にとって、それをある程度認知してもらうことの難しさ、さらに価値を提供するまでの信用を得るステージに上がることは超ハードモードだということです。

しかし、音源でもありました「変化こそが常態」というように私も自分を根本的に作り変えたいので、少しずつでも、発信していこうと決断いたしました。そして、デジタルと仲良くなるために、友人との ZOOM によるオンライン飲み会を企画しました。

最後になりましたが、この度は貴重な音源ありがとうございました。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

(T. K 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

新たな条件の中で、どうフランス人のお客さまとコミュニケーションを取って、関係を再構築していくのかを思考する上で、とても示唆に富むセミナー音源でした。

パリにて、レストランをフリーエージェントにて経営しております。当地では度重なるストやデモなどにより、幸か不幸か、コロナ以前からハードモードで、既に「変化が常態」化させられておりますので（苦笑）、今回もマインド的にはそれほど大きな影響は感じません。

ただ、今回の、一時的なものではなく、根本的かつ本質的な、また、全世界的な社会の「不可逆的な変化」をどう予見するか、その新たなマインドセットのために音源を拝聴いたしました。

個人的には、特に、後半で言及されていた、オンラインでの情報発信、ネットワークというものが、日々の変化への対応に忙殺されるあまり、蔑ろにしてきたことを痛感いたしました。

新たな条件の中で、どうフランス人のお客さまとコミュニケーションを取って、関係を再構築していくのかを思考する上で、とても示唆に富むセミナー音源でした。
ありがとうございます。

（飲食業 D. S 様）

この度は気づきの多い音源を有り難う御座いました。

音源の中で自分の課題として「変化への対応」、そして「自身のデジタル化」を思いました。世の中は昔とは比べ物にならないくらい変化のスピードが早くなりました。IT 技術の進化により、周りの環境が激変していると感じます。しかし全然ついていけない。汗

変化を拒絶せずについていかなければ、置いてけぼりになります。しかし変化には負荷がかかります。人は基本的には変化を嫌います。変わろうという覚悟がまだまだ足りていません。それにはどうしたら良いのでしょうか?話の中で「変化を常態とする」というくだりがありました。究極は「変化する事を習慣にしてしまおう」という事です。ある意味飽きっぽいことも強みになるかもしれません。常に世界は変わるから、自分も変わり続けたいとね!とは、まさに「変態のススメ」と捉えました。

変化を感じる経営＝変化対応業「炭鉱のカナリア」の比喩が納得です。自分の業界では、どんな変化が起きているのか?それには常にアンテナを張っている必要があります。そしてどんな変化が起きているのかを探り、自分に置き換えると、変えるならば何を変える必要があるのか問いをします。そしてある種の仮説を立てて検証し、それを繰り返すことにより、自ずと手数が増えます。すぐに仮説を立てられないので、すぐに実行できないのが自分の課題と分かりました。だから手数が、、、

参考になった話が、「時代の半歩先を歩く」でした。未来を見ている「半歩先を歩く人」を意識する、追いかける、というものです。それも1人ではなく三点観測のように複数の人を意識します。一種のメンターのような人ですね。鮎谷さんを初め、各分野のすごい人を意識したいと思います。「変化の渦中においては変化に気づかない」後から振り返れば大きく変わっていても、変化の渦中においては、小さな変化が繰り返されています。いかに小さな変化に気がつけるかが重要になります。

自分は「炭鉱のカナリア」になれるか?

今の状況は、自分を大きく変えるチャンスです。こんな時でないと変われません。まさにチャンスです!!!

「自身のデジタル化」アナログ人間なので耳の痛い話でしたが、デジタルの関係性?デジタルで仲良くなる。こここのところの ZOOM 三昧に納得がいきました。アフターコロナになっても続いていくと思います。そしてオンラインでの発信力に力を入れること、日記程度のものをデジタルでいくら描いていても、しっかりと力を入れないと、仕方がないと反省しました。紹介のありました、Web 進化論、アフターデジタルも早速 Amazon で注文いたしました。

「歴史は韻を踏む」歴史は繰り返すのではない、、、韻を踏む、、、早速調べました。汗

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」有事なんて人の一生にそうそう起こりません。自分の経験なんてしれています、、、今回の新型コロナウイルスは私にとって人生初めての有事かもしれません。ピンチはチャンスと捉えて、変わるなら今しかありませんね。

この度は気づきの多い音源を有り難う御座いました。

(税理士 高木義行 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今まさに在宅勤務が続く中、もやもやしている所を言語化して頂き霧が晴れる内容でした。

鮎谷さん

今回で音源購入は、

題名のない放談会
超勉強法
フォローアップセミナー
目標設定放談会

に続いて、5本目となります。

先に購入した4本は徒歩30分の通勤中のヘビーローテーションとなっています。

今まさに在宅勤務が続く中、もやもやしている所を言語化して頂き霧が晴れる内容でした。

シャンプーハットの小出（昔は小出水でした）さんの話が出てくるとは思いませんでした。

私は営業と一緒に海外の製品を販売するエンジニアなのですが、営業が仕事をとってこることが基本となります。今回のような状況となると、営業はお客様と接点が少なくなり、新規顧客開拓もままならずエンジニアとしての仕事が目に見えて減っています。

自己マネジメントができないとキツイ世の中になるというお話はまさにその通りだと思います。

以前の音源の中でも渦を巻く側にならないとダメというお話もありましたので、今回のお話とも一貫性があり非常にささりました。

一億総発信者の時代

まさに、SNSなどネットをやっていないことは、存在していないと同じ時代になっており、今回のことでそれが一気に加速したと感じます。

また、変化適応業、変化対応というお話についても、私の会社で4月にオンラインで実施された今年度キックオフ会議で本部長が「順応力」と言うことを言われており、お客様も変化するので我々もいち早くそれを知り順応していく必要があると言われていたことと、リンクして非常に印象に残りました。

やる気の半減期は1日という言葉は私の中に落ちていますが、行動に移せていな

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

い不甲斐ない自分を何とかしたいと思います。

音源学習に関しては、一度の話しでは右から左に素通りしてしまう私にとっては、最高の学習法だと思っています。

(IT エンジニア M. T 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

変化を受け入れて対応できる人間になるべく、日々精進していきたいと思います。

音源を聴いて気づいたことは、今のままではいけない（変わらなきゃいけない）ということです。

自分はどちらかというと安定思考で、これまで安定した生活を求めてきたところもあります。ただし、それだと、音源中に出てくる、炭鉱に携わる人のようになってしまわないかという焦りを覚えました。

※実際、個人的にそのようにジリ貧になっていってる状況であり、「何とかしなきゃ」と強く思っているところです。

私は、気になった言葉を習慣化するために「気になる言葉リスト」を作っているのですが、早速、以下の言葉を新たに追加しました。

- この2～3ヶ月、年単位で違う自分になる。それをありがたいと思っている。
- 今を（大変だとしても）チャンスと捉えている。
そう捉えることで変わってくる。
「まじ来た、これ」と思う。そういう世界観で生きていく。
- 「機嫌良く生きる」ために、変化対応し続ける。時代の半歩先を行く。

※まだ音源を一回聴いただけなので、繰り返し聴くと、また新たな言葉が追加されるかもしれません（笑）

個人的に印象に残った言葉は「経営者とは変化対応業である」です。

自分は経営者ではありませんが、経営者というのは、なるほど、変化対応を行っていくことを生業とするものなのか、と率直に思いました。

音源中にもありましたが、家庭生活を経営とみなすと、皆が経営者であり、キャリア毎（例えば、結婚する、子供が生まれる等）に変化対応を求められるというのは、確かにその通りかと。

稚拙な例えですが、私は結婚する前はずっと実家に住んでいたこともあり、家事を一切してこなかったのですが（それはそれで問題ですが...）、結婚してからは（なかば強制的に!?!）掃除、食後の後片付けを担当するようになりました。

いずれにせよ、今後は、変化を拒む人（現状維持の人）と変化を受け入れる人とで二極化していくのかと思います。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

音源を聴いて決意したことは、

「私は変化することを当たり前とする人間になる」

です。

変化を受け入れて対応できる人間になるべく、日々精進していきたいと思います。

乱雑な文章で、誠に申し訳ございませんが、音源を聴いて思ったことをそのまま書かせていただきました。

以上となります。

(M. Y 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

これからも切れ味の素晴らしい音源を楽しみにしております。

【平成進化論セミナー事務局】
鮎谷様大塚様

この度は素晴らしい音源をご提供くださり、誠に有難うございました。

今回、一番印象深く残ったのは、やはり、コロナはチャンスであり、こういう機会でもないと言われたいという言葉でした。コロナでオワッタと恐れおののく人と、キタコレチャンスととらえる人とは、未来は同じであるはずがありません。気付いたときには、追いつくことも並ぶことも不可能な圧倒的な差が生じってしまう、ある意味恐ろしい時代に突入したことに実感がわいてまいりました。

コロナによってオンライン化が進み、通勤、会議等、いかにムダなことが多かったか、そして、それらを捨てることで見えてくる自由な世界があることを知らされます。しばらくは、この状態が続くと思われませんが、自立心、主体的な当事者意識を持って変化が常態と思って不安定を極め、このコロナチャンスに安定をつかみたいと思います。

これからも切れ味の素晴らしい音源を楽しみにしております。このたびは深い学びの宝を頂き、誠に有難うございました。

(Y. F 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

指針になる音源ありがとうございました。

新型コロナの影響で、目に見えるお店のほとんどが閉店している光景を見るのは初めての事です。どう考えてもこの状況はすぐには変わらないと思われるので経済の衰退も避けられないのでしょう。こんな中、指針になる音源ありがとうございました。

自分はというと、鮎谷さんの危機意識からするとレベルが低すぎることに愕然としました。このままでは、大きく変容していく世の中に取り残されてしまうのだろうと恐怖を覚えました。。

話の中で「混乱のときにしか下剋上は起きない」という言葉が刺さりました。当たり前が当たり前ではなくなることが確実となった今このチャンスをもものにできるように努めていきたいと思います。また、未来予測や自分の個を引き立たせて新しい世の中に適合できるように行動することなど参考になりました。

他の音源で聞いた、第2領域を日々コツコツ実行することもこのような危機への備えにつながるのだと改めて感じました。何度も聞いて自分の血肉にします。

ありがとうございました。以上

(M. K 様)

私自身も、このチャンスをきっかけに、Being を描きなおし、リアルな行動変容を遂げ続けていきます。

これまでもさんざん VUCA の時代だ、変化の激しい時代だと言われており、これらはすべてわかっていたことであり、行動変容が求められていたにも関わらず、本当の意味の変化対応としては「動けなかった」「動いていなかった」という自覚がありました。

「このままでは死んでしまう」というくらいのパラダイムシフトがこの「コロナ騒動」ですでに起こったということを経験を聞き、ようやく刻んでいくことができました。

個人的な文脈として、今までの数年間については、自分自身をチューニングしてレベルアップすることに努めていました。そういう自分の準備の状態がどうかとは関係がなく、変化対応、行動変容がまず優先され、それがなければ、何もできない、始まらないという感覚を持つことが出来ました。

まさに今は転換のとき。ではこれは、ピンチなのか、チャンスなのか。

チャンスでしかないという確信を経験に後押しされて持つことが出来ました。それだけでも十分な「価値」をいただきましたが、今後も繰り返し聞きながら、自らの変革姿勢を客観視する音源にしていきます。

話は改めて、平成進化論というメルマガがビジネスメルマガから人生メルマガにシフトしたという件を聞き、

ビジネスという切り口は大切な切り口だけど、結局は抽象度を上げて、どのような人生を過ごすのか、ありたい姿、Being、に向かってどのように生きるのか、を表現されていて、手段としてのビジネスをどう回していくのかがメルマガに記録されているという構造を実感できました。

学生のころ「今日もビジネスを楽しみましょう」というフレーズにはじめて触れたときのワクワクと、心躍らされたことがおぼろげながらも記憶にあります。

そして、その言葉はずっとビジネスを楽しみたいんだという自身の欲求として刻まれてきました。

働き始めの頃や、少し経験が増えてこれからどうしようというときも、鮎谷さんという人物を介して、このフレーズに出会い、自分自身に刻んでいただいたことで、「今自分はビジネスを楽しめているだろうか」という問いを持つことが出来ました。

いつの間にか今は巻末に「今日も人生とビジネスを楽しみましょう！」と変わって書いてあったんですね。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

鮎谷さんの小さくも確実な変化の一つをストーリーで実感できました。

鮎谷さんを「勝手に、仮想的に」ライバル視して、身近に掲げて日々過ごしているのですが、そもそも次元がまるで違うし、活躍されている領域から何から何までまるで違うのですが、

目指す対象としての「リアル」が感じられるのは、以前よりも「ビジネス」から「人生」にシフトされた部分も大きいのかなと音源を聞き、感じました。

私自身も、このチャンスをきっかけに、Beingを描きなおし、リアルな行動変容を遂げ続けていきます。

ありがとうございました！

(株式会社金堀重機 代表取締役社長 春田一真 様)

経営は変化対応業といういきなりの至言から始まり、抽象だけではなく具体的な事例も豊富に盛り込まれていたため最後まで楽しく拝聴させていただきました。

この度は有益な音源ありがとうございました。

経営は変化対応業といういきなりの至言から始まり、抽象だけではなく具体的な事例も豊富に盛り込まれていたため最後まで楽しく拝聴させていただきました。

- 経営は変化対応業
- 変化するのが常態である
- アフターコロナはどんな時代になるのか具体的な予測

などなど書き切れないほど学びが多く、えてしてぬるま湯につかりがちな自分に喝を入れる大きなきっかけとなりそうです。

「不謹慎だけど、来たこれ！」と自分に言い聞かせて落城3分とも言われるこの時代を生き抜いて行きたいと思います。
ありがとうございました。

(会社経営 K. I 様)

コロナ禍によるこの状況を私自身を再構築するチャンスと捉えようこの音源を拝聴して感じました。

アフターコロナ音源をヒーローテーションしております。

朝起きてから通勤途中、就寝前まで重ね塗りのごとく反芻して意識の中に落とししています。

コロナ禍によるこの状況を私自身を再構築するチャンスと捉えようこの音源を拝聴して感じました。 これまでも being 目標は立てて、doing を実践していたつもりですが改めてGWの期間も活用して being を深掘りします。

アフターコロナの世界はこれまでとは全く違う景色になっていると想像して、人生の後半戦を戦い抜きます。

引き続き、メルマガ、音源で鮎谷さんに寝かせて頂きます(笑)

(H. F 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

今回の音源からも多くの気づき、行動につながる考えをいただきました。

鮎谷様
大塚様

いつもお世話になっております。

この度はコロナによる不安からくる社会人ニーズ、進化論ファンの心を的確に察知し 貴重な「ことばによる導き」を提供いただき誠に感謝しています。

今回の音源からも多くの気づき、行動につながる考えをいただきました。

その中でも、これからは個人力が更に問われる時代になると考え、実践します。

初めての在宅勤務となり、如何に時間を有効に使うか、生産性を自ら高めるか、という自ら考えることが必要であるし、新しいコミュニケーションスタイルも構築する必要がある。

また、コロナと共生する社会となると日頃から自身で免疫力をたかめる等の健康管理、猥雑な場所を避ける、安全な場所の確保での活動という、ヘルスケアの必要性もでてきています。今までの平和ボケではなくいろいろな面で新しく自分を律することが必要であると。個人の在り方が問われるのですね。そのためにも、あるべき姿を心に打つ目標がとても大切になるとも、あらためて感じました。

また、出来る人はできる、出来ない人はできない という2極化が極まること、そのリスクが始まる事音源を聞きながら深く感じました。自ら考えることを放棄しているように見える、今いる会社組織の今後の事も気になりますが、まず、自分をしっかりとマネジメントできるようにいたします。まだまだ続く緊急事態宣言の期間ではありますが、*またとない貴重な自分を成長させる自由な時間に 細胞を活性化する行動をおこない、変態への準備を重ねて5月末には新しい姿で羽ばたけるようになります。 *

そのためにも音源をコンパス、脳を刺激する栄養ホルモンとしてしっかりと活用させていただきます。

この度は本当にありがとうございました。

(R. T 様)

今回も行動につながる音源をご提供頂きありがとうございました。

鮎谷様

いつも大変貴重な音源をご提供頂きありがとうございます。

アフターコロナ音源で印象に残ったのは、「経営とは変化対応業」であるということです。

経営と言っても、会社経営ということだけではなく、個人が自分の能力というリソースをどう活用して、価値を生み出していくかという観点では、自分経営と捉えて、変化にどう対応するかを考える必要があると感じました。

GWでも外出せずに家で過ごすという環境の変化に対し、コロナ関連情報を次々と発信するテレビを漫然と見て過ごすのか、アフターコロナに思いを馳せ、新しい活動計画を立てて、行動に移すのか。正に変化への対応力が問われている気がします。

コロナは大きな変化をもたらしましたが、日常の小さな変化も含めて考えれば、状況は常に変化しています。変わりゆく環境に対する意思決定基準を最適化するにはどうしたらよいかという問いを立て続け、自分自身が変わっていくことを常態化させ、変化対応力を向上させたいと思います。

今回も行動につながる音源をご提供頂きありがとうございました。

(K. N 様)

会社員の立場からも、また自分の目標とした3つの収入源を持つ（副業）の立場でも同様の行動が必要という認識が生まれ、行動基準を言語化することができました。

会社員の立場からも、また自分の目標とした3つの収入源を持つ（副業）の立場でも同様の行動が必要という認識が生まれ、行動基準を言語化することができました。

.....

安定は幻想であるを前提に、新書、またはメンターに一步先の世界に連れて行ってもらい、そこから振り返って今の行動を決める。
その世界で何が課題となり、そこに対して会社、また自分が提供できるものはなにか？それをオンラインで情報発信していく。

.....

会社員として経済的に守られている立場、また（全てが自由になるわけではありませんが）お金、人というリソースがある立場は有効に活用し、オンラインでの情報発信を試してみよう！
そして、そのノウハウを個人の副業にも生かしていこう！

と決めました。
どの立場でも、やるべきことは変わらないですね。

そしてあるべき姿として、

「いい人であり、凄い人である必要がある」

が心に刺さりました。

これもまた、漠然とありたい姿としてあったものが、言語化されて明確になりました！

これも大目標に加えて、how.what で下におろしていきます。

（社労士K 様）

自身の理解の程度はまだまだですが、それでも微差を積み重ね、自分で認識、問題意識の感度が上げるチャンスを頂けた、当音源のご提供に感謝致します。

鮎谷様
セカンドステージの皆様

この度は アフターコロナ放談会音源をご提供頂きまして、ありがとうございます。

今回はコロナウイルスというインパクトのある題目でしたが内容は日常環境の大きな変化（与えられた環境・置かれた場）に飲まれてしまうのではなくこの状況でも気付きと自身を成長させる事が出来る事。また多くの人は只々、環境の改善を待つばかりであるが、他者と差をつける、むしろチャンスにする事が出来る事を教えて頂きました。ピンチはチャンスという言葉は色々なところで聞きましたが、今がその時である事が今回の音源を聞くまで、知識だけに終わっていて、実感する事が出来ませんでした。

学生の頃に読んだある本には、山に住む狩人でも、天変地異で山が海に変わってしまったら狩りをやめて漁をして生活する。と書かれていた事を思い出し、さらに痛感しました。日常変化は毎日、毎秒起きているが、普段の変化はあまりに小さいか、ゆっくりなので、文字通りゆでガエルの状態でもほど気を付けていないと気付けないのではと思いました。

また、その変化は不可逆的（知ってしまった）にも関わらず、時代の流れなどという言葉で見ても見ぬふりをしている部分も多いのではないのかとも思いました。直近の状況は変化が大きいので、“変化”という認知が顕在化している様に思えます。（勿論、自己努力では変化に対処仕切れない事もありますが、そもそも自分はどこまで善処しているのだろうか、という疑問にかられました）望む・願うの如何に関わらず、本来変化が当たり前であり、当然であり、受け入れ日々生活するもの（そして、しているの）だと再認識致しました。

そして、主役たる（認知する）自分が何を望み、行動し、何を得て、対応するか（PDCA）や現状をネガティブに捉えるのだけでは勿体無さすぎる、ポジティブに捉え時間の有効活用（自己啓発）や、行動による正しい世界認識（成功・失敗といった結果だけでなく、そのプロセスも踏まえ）を得ることの重要性仮説を立て、変化に向き合い、問い／仮説があるから手数が增える（世界を殴り続ける）重要性、世界観の構築安心は貯えでなく、何が起きてても対処出来る自分であることスキル・知識は、結果を出し、自分が何者になるかの手段であり、目的では無い事など、自身の理解の程度はまだまだですが、それでも微差を積み重ね、自分で認識、問題意識の感度が上げるチャンスを頂けた、当音源のご提供に感謝致します。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

(青木隆幸 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

自分に足りない要素は知識や行動のみならず、と改めて認識させられました。

この音源を買った理由は2つあります。1つ目は、今回のコロナ騒動に対する経営者(音源の言葉を使うならば変化対応業の経営者)からの目線を得たかった事。

自身はまだ何も変わらない日々を過ごせる幸福がある反面コロナショックの空気を未だ直接肌で感じられない環境という意味では、不幸にも取り巻く環境は、以前と変わらぬ生活のままです。休業になる事もなければ、営業時間を短縮する事もなければ、リモートワークになるわけでもない仕事は毎日いつも通りに出社して退社、何も変わらない日々です。

とはいえ職場の人たちはコロナの話題ばかりです。

どこで感染者が増えたとか、軽症でも苦しいだとか、マスクが、消毒液が、クルーズ船から帰ってきて発覚した人は嫌がらせにより家を離れる事になった、県外ナンバーが駐車場に止まると、県外からわざわざ来るなよ、などなどウイルスに関する話題が尽きません。

個人的には死亡データで見ればヤバイのは基礎疾患のある高齢者だから、自分は若いし健康だし、掛かっても無症状かもしれない、3密を避ければ怯えることもないだろうと思っていました。

しかし、それは方向性が真逆なだけで、過剰にコロナに怯えている人達と、結局は同じ目線の高さなのです。これからの世界の未来は見えていない。仮に見ようとしてもその高さだと見えないとも言えます。

自分はリーマンショックに関しても、特別人生に何の影響もなく当時はネトゲしかしていなかったこともあり、世間がどうだったのかまったく記憶にありません。同じ職場の人たちも自分と環境は変わらないわけだから、リーマンショックについても思う所はないでしょう。今いる環境からは違う目線を得られない。ならば違う高さの目線を知るには、この音源が最適だと思いました。

2つ目の理由は今が旬ということ。この音源はもちろん1年後や2年後に聞いても得るものがあるはず。しかし、やはり今聞くのが一番良いのではと思います。自分は先月末にも音源を購入し、今月はピラミッド音源を購入しました。その時はもう今月は新しい音源出ても買えないな！と思いましたが買ってしまいました。そして少し残っていた袖が無くなってしまいました。これは週明けに迎える自身への誕生日プレゼントという気持ちもありましたが、そうでなくとも**余剰金を絞り出してでも聞く価値はありました。**

以前の音源で、バカみたいに行動してオーバーフローを起こすか、外圧が加わって今のシステムじゃどうにもならないとなった時がチャンス、とお話されていました。今回のコロナ騒動はまさに外圧が加わっている状態と言えましょう。ここで、今までのシステムを使い続けるのか、システムを変化させていくかが、今

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

後の分かれ道となりそうです。今は売上が下がっていても、コロナだから仕方ないと騙されてしまう所が多いでしょうがアフターコロナは今までとは少し違う世界になるはずです。これもメルマガでは書けない歯に衣着せぬ発言だと思いたしますが今、3密の中でウェイとやってるのはバカばかりだと、お話を聞いていました。アフターコロナ後でも、3密を避ける流れが来る可能性があるとのことですが、確かにウイルスが収束しても、これで換気の悪い場所の空気を遠慮なく吸える3密はやっぱり最高ですと、精神的になれない人も出るでしょう。

オンライン化した所がそのままオンラインを継続する所もあるはずですが、専門家会議でも行動変容という言葉が出てきたりします。ただ耐えればいだけなら、収まるまで皆さんしばし耐えて下さいとなるはずでしょうが、専門家達はコロナ後の世界がどうなるかわかっているかのように行動変容してくれ！と訴えています。

しかし、その真意が伝わらず、まだ多くの方がウイルスが収束するまで耐えれば良いと、考えて過ごしている可能性もあります。自分自身コロナの外圧をまだ肌身を感じる環境ではないので、まだまだ認識や危機感が甘い所はありますが、メルマガを読む前の自分なら、不安を煽るまとめサイトだけ見て過ごしていただろうと思います。

今回の音源で印象に残ったのは、ネットを使いこなしている高校生や大学生たち、実際にこうして稼いでいた人がいたという具体的なお話です。メルマガを複数運営して稼いだ大学生や、特に15万のセミナーに自分で稼いだお金で参加しているなんて！自分が高校生の時は15万という金額やセミナーなんて頭にありませんでした。学生起業家と言えば国内外で大学在学中にというお話は溢れていますが、そういう人たちはもう高校生の頃から、色々と違っていただのでしょう。

この話を聞くと、かつての自分はこう思っていたでしょう。「留学できるような家庭環境とか、そもそもが違いすぎて参考にならない」自分を変えられない人間は今の位置から動こうとしないので、どんな人を見ても、あれは自分と環境が違うからとできない境界線を引いてしまいます。今の自分であれば、その行動力、発想力はどこから来ているのか？単に知識だけあっても同じような事はできないだろう。ただ稼ぐという意識だけでなく、森羅万象に多情多感たれの言葉のように、物事に興味関心を持ち、好奇心溢れた姿勢から生まれているのではないかと、そうした人物になる為に自分に必要な要素は何だと考えます。

最近知識も大事だが、それ以上に感受性と言いますか心の豊かな土壌と言うのか、上質な脳みそと言うべきか、受け取った情報を処理する大元のOSの質の大切さを以前よりも強く感じます。今回の騒動を見ても、目の前のコロナウイルスだけを見て、〇〇が原因だとか、だれそれが悪いとか、そんな事だけ言って日々過ごしている人間は、不満を他者にぶつける事しかしないので何も変わらないでしょう。

視点の違う人たちは先を見ている。今回のコロナ騒動でもそうではあるが、既に起こった事として考えている。先を見ている人は普段から同じ本を読んだとして

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

も、同じニュースを見たとしても、同じ映画を見たとしても、受け取る情報の質が違ふと思います。そうした人間になるべく、自分のピラミッドに「森羅万象に多情多感たれ」とか「上質な脳みそ」というような言葉が入るようになりました(最近本で知った言葉です)

鮎谷さん流に言えば、外の世界に興味関心を示すというような感じでしょうか。同じ知識だけ入れても、それを処理した時に出てくる差は普段から育まれた心や頭にある、と思っています。未来に備えるためにも、その状況になったらと考える想像力が必要不可欠です。

単なる知識を入れるだけでなく、そのような部分も鍛え成長させるにはどうすれば、と、そんなことを最近は特に考えるようになりました。一流の人たちは想像力が豊かに違ふ。見えてる未来が鮮明でなければ危機感を感じないだろうと。これも高等なフィクションというやつですね。未熟な人は貧相な想像力でクオリティの低い未来しか想像できないかもしれない、ならば、視点の違ふ人はどのように未来を見ているのかを、まずは知る事から始めるべきだと改めて思いました。

もちろん、今回のような騒動は、未来予知ができる超能力者は誰一人としていませんから一人の意見だけを参考にするのではなく情報は色々な所から、三点でというお話もされていました。そのうちの一点がこの音源であるのは間違いないでしょう。自分に足りない要素は知識や行動のみならず、と改めて認識させられました。

今回もありがとうございました。またよろしく願いいたします。

(N. S 様)

先週からリモートワークが始まった私にとって正にぴったりのタイミングの音源であり、いろいろ考えることが多い音源でした。

先週からリモートワークが始まった私にとって正にぴったりのタイミングの音源であり、いろいろ考えることが多い音源でした。

リモートワークを始めて思ったのが、多少の不便・調整は必要になるが、IT業界という事もあってか案外何とかなるな。と。であれば、音源中で仰っていた例えコロナ騒ぎが収まった後でも戻ることのないポイントがここには含まれているのだと感じています。

具体的には今後はよりオンラインでのやり取りが仕事、生活の比重を占めていくであろうこと。今はオフライン（face to face）のやり取りがあったうえでお互いリモートワークで仕事を進めておりますが、今後はオンラインのみで出会い、仕事が完結するケースが増えていくのでその作法（デジタルで仲良くなるためのお作法）を身に着けていく必要がある

その作法を通して“いい人、すごい人”であることを相手にアピールしていく必要がある。

そのためのヒントとなるのが、以下の音源中の言葉なのだと思います。

ゼロイチのコミュニケーションは限界になってくる。オンラインの情報発信が大事(twitter, facebook 等)

もう一つ根本的なところでの学びは、この騒ぎにあたって私も含め多くの方が強制的な変化を経験していますが、“変化こそが常態”であれば、よりスムーズにこの流れを加速しているけるであろうことそのために、仕組みとしての変化を取り入れていかなければいけないのだと感じております。

まだすべてを消化出来たわけではありませんが、今回も学びのヒントを頂きました。

ありがとうございました。

（システムエンジニア S. H 様）

この重要局面において、「どうしたらよいか」「どう考えたらよいか」ということを本音源で示唆して戴きました。

いつもお世話になりありがとうございます。

今回も貴重な音源を販売して戴き誠にありがとうございました。

鮎谷さんから学ばせて戴くようになってから、「変わること」「変わり続けること」の必要性や楽しみ、喜び、興奮？快感？を覚え、「変わること」「変わり続けること」を趣味としています。人間は安きに流れやすいもので、本来は「変えたくない」「今までと同じ」「慣れ親しみ」が楽なのかもしれません。

ならば『「変わること」「変わり続けること」を「変えたくない』とする「変化恒常状態」になれば、どんな時代や環境の変化にも対応して生き残ることができると確信し、長年鮎谷さんから学ばせて戴きながら、その「状態」をbeing目標の一つとしてめざしてきました。

今回のパンデミックはひとつの環境変化、時代変化。働き方や生き方をパラダイムさせます。環境や時代の変化を目の前にして、拒絶して受け入れない人がいるのが現実ですが、今は誰もが必然にも変化しなければいけないとき。沈みゆく環境や時代にしがみついている一緒に沈むわけにはいかない。

「強いもの賢いものではなく、変化に対応するものが生き残る」というダーウィンの言葉のように、今、我々は「変化に対応できるか」と試されている気がします。

今まさに、過去から鮎谷さんより学ばせて戴いている「変化」「変容」を全力で実践して、「変身」「変態」するときだと思っています。

「大変なときは、大きく変わるチャンス」10数年前、新入社員のときに教えてもらったこの言葉だけで、今まで数々の大変なときを乗り越え生きてこられたと思うし、多少なりとも変わってこられたと思っています。

「言葉ひとつだけで未来や人生は変わる」ということも、今まで鮎谷さんから何度も何度も教えて戴きました。今、本当に世界の秩序やルールが変わるパラダイムのタイミングであり、場合によっては（不謹慎ですが）大チャンス到来なのかもしれません。この重要局面において、「どうしたらよいか」「どう考えたらよいか」ということを本音源で示唆して戴きました。

「今の安定にしがみつくな」「このチャンスをもものにせよ」という鮎谷さんの言葉の元、このパンデミック&パラダイムを「変化」「変容」「変身」「変態」をもって乗り越えていくことをここに誓い、感想とさせていただきます。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

改めて、いつも、今回も、貴重な学びを戴き本当にありがとうございます。

今後ともよろしく申し上げます。

(桑原 考太 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

コロナ後の世界でコロナがあったから今の自分が居ると明言している自分を想像しています。

現在の私は下記条件にほぼ当てはまっており、このままで良いのかという危機感を持ちつつも大きく変わる事が出来ていない状況です。

- 企業に勤めている
- 中間管理職
- 家族・子供がいる
- 家のローンがある
- 時間がない

多忙な業務はなくなり、毎日深夜帰宅。⇒身体的にキツイ会社に行けば、環境変化を考えなくても、やる事はあるし、やり遂げるとそれなりに評価される。⇒楽で、心地よい

また、デジタル（Youtube やまとめサイトで稼いでいる人）を見て、頭の片隅で“しっかり働けよ”と感じている。

しかし、現実、私も購買行動をスマホを通して行う頻度が増加している。間違いなくスマホを通して世界を見る（人の活動がスマホ上で行われる）ことになってきている。

自分の周りの環境は徐々に変わっていくものであって過去の事例からも自分だけが取り残されてしまうこと間違いなし。

そこで本音源でも鮎谷さんがおっしゃられています、“リアルとデジタルは一体化する”事を念頭に入れ今後、必要になってくる下記項目を強化していきます。

■個のマネジメント

会社に頼らずとも自分の行動を自分で決定していく

■デジタル世界で個の確立

デジタルでの情報配信 デジタルの世界に人間が行う営み行こうしていく

具体的には、下記項目を情報配信していきます。

- 自分が考えて歩んできた人生を抽象化したエッセンス
- デジタルの世界を人より先に経験し、経験を抽象化したエッセンス

自分の中で何が人様に提供できるのか、ここを見つける事が最も難しい事ではないかと考えておりますが、まず DCAP を回し手数を増やし、良い意味でも悪い意味でも結果（反応）を出していきたいと思えます。

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

コロナ後の世界でコロナがあったから今の自分が居ると明言している自分を想像しています。

(自動車部品メーカー勤務 M. K 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

前回のピラミッド音源は深遠で徐々に効いてくる漢方薬のような音源でしたが、このコロナ禍音源は即効性がある頓服薬のような音源だった印象があります。

今回のコロナ禍の音源の配信ありがとうございました。

前回のピラミッド音源は深遠で徐々に効いてくる漢方薬のような音源でしたが、このコロナ禍音源は即効性がある頓服薬のような音源だった印象があります。

やっぱり、このコロナ禍の自分自身も動揺している、というか我を失っていたような精神状態でした。やっぱり、今後、どうなるのだろうかとか、今のままで大丈夫なのか、という不安にさい悩まされたものです。

ですが、この音源の中で、「世の中は変わり続けるのが常である。」「長い歴史の中ではには戦争やその他事件が繰り返し替えられ、なにもない時代を生きるのが僥倖である。」「変化を受け入れるか、拒絶するかで結果がわかる。」「この中でもうまくやっている人はやっている（下剋上は変化の中でしか起こらない）」、「経営は変化対応業である」という言葉群を聞くことにより、自分自身も客観的に、渦中から少し離れるところからこの状況を俯瞰でき、精神的な落ち着きを取り戻せた、と感じます。

また、この音源の中で、「この1か月間でなにをやるかで人生が決まる」という言葉を紹介いただきました。「なに」の具体的な内容として、情報収集をし（新書、できれば三角形をつくるように）、近い未来、遠い未来を予測しそこから逆算して考える、そのとにより問⇒仮説⇒手数が生れる、ということ。あとは急増する在宅勤務にふれることにより個としての自立が必要、発信することにより人を巻き込むことが必要、といったこともお話いただきました。また、発信することにより人を巻き込むということも必要です。それと、大切な心構えとして、「半歩先に行く」ことが大切、というのも貴重な箴言です。

ぼくはなにをやるか、というと、やっぱり、近い将来の情報収集をして、未来予測をしつつ、そこをふまえて今することを決めて、それを粛々と実行していかねばという決意をしました。
以上よろしく申し上げます。

（公認会計士 K. F 様）

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

テレビでのニュースでは、悲観的な内容ばかりで、かつ、目先の事ばかりのつまらない話しかありませんが、今回の鮎谷さんのお話を聞き、今は「チャンスなんだ!」と思えた事が、今回の一番の気づきです。

世の中は常に変化しており、今回のコロナはその変化のスピードがいつもの数十倍で動いているだけ。

この変化を「チャンス」として捉える事が出来るかが、これからの自分にとって、生きるか死ぬかのタイミングとなる。また経営者は「変化対応業」とであると。

私自身はサラリーマンでありながら、一家の大黒柱としての家族の経営を担っております。会社に限らず、家族を養っていく上でもこの「変化対応業」というキーワードは、とても分かりやすく、且つ、重要な内容だと感じました。

今は在宅勤務を実施しており、世の中の変化を凄く感じていますが、もっと長い時間軸（未来）の中で、色々な専門家の方たちの未来予想を「知識」として情報収集をしていかなければという事を強く実感しました。「知識」がなければ「想像力」も働かないですもんね。狭い範囲だけで物事を考える事なく、自分の枠を飛び越えたところの知識を得て、それを活用し、その時その時の世の中の「変化」へと対応できる、半歩先に進んでいる人間としての力をつけたいと思いました。

テレビでのニュースでは、悲観的な内容ばかりで、かつ、目先の事ばかりのつまらない話しかありませんが、今回の鮎谷さんのお話を聞き、今は「チャンスなんだ!」と思えた事が、今回の一番の気づきです。

新しい視点を得る事ができましたので、この内容をどう生かすか、色々な情報を集めながら、手数を増やして家族を守るために変化し続けられる男でありたいと思います。

※これまでも色々な音源を購入しておりましたが、結構な期間、疎遠になっておりました。。また、改めて目標設定音源や、日記音源などを聞き返し、自分の軸をしっかりとった上で、今の世の中の変化へ適応していける柔軟性を身につけようと思います。ありがとうございました。

(森志朗 様)

あいもかわらず鮎谷様の言語化力には驚きます。
頭で同じことを考えていても圧倒的にその解像度が違うことにより鮮明に
アフターコロナの想像ができました。

あいもかわらず鮎谷様の言語化力には驚きます。
頭で同じことを考えていても圧倒的にその解像度が違うことにより鮮明に
アフターコロナの想像ができました。

まさしく、コロナが起こってから不謹慎極まりないですが「きたよ、これ！」状態
と
思っていて、日頃どれだけ説明してもわからない人たちがいる中で変わらない
ことをなかば美德であるかのように捉えている方々には、これも語弊がありますが
強烈に言ってしまうと「良い薬」になったのかもしれない。

もう歴史は完全証明して新しい時代の流れは間違いなく止められないですし
旧態依然に変わらない企業や人は問答無用に切り捨てられていくと思います。
企業経営をする上で常に思っていることが自社のライバルは「時代」と思っ
ています。

おいていかれないようにするにはつぶさに時代を読みそれに応じて変化しな
ければ
生き残れないのは生物学的にも証明されています。
これからはより楽しみです。

(M. F 様)

気持ちがコロナにやられそうな状態だったのですが、良くも悪くも世の中の大転換期を経験できるんだということを強く感じさせていただきました。

鮎谷様、セカンドステージの皆様

平成進化論歴数か月の者です。鳴かず飛ばずで土業を営んでいます。価格が安く（私にとっては決して安くないのですが）タイムリーな音源なので、購入させていただきました。

コロナ禍中の現在はチャンスであるということは、すでに感じておりました。コロナに翻弄されることなく、来るべき時に向かって、今こそ行動しなければならない時だという認識はありました。ただ、何を具体的にしていけば良いのか皆目見当が付きませんでした。

この音源で、ひとつの仮説によって鮎谷さんに答えを教えていただきました。

それは、「オンラインによる情報発信者（いい人すごい人）であること」ことでした。

また、気持ちがコロナにやられそうな状態だったのですが、良くも悪くも世の中の大転換期を経験できるんだということを強く感じさせていただきました。

アフターコロナの世界がどうなるか私には想像もつかないのですが、自分なりにしっかりと地に足をつけて、人間としての基本を強く胸に秘めて機嫌よく生きていきたいと思います。

ありがとうございました。

皆様の今後の更なるご活躍を祈念しております。

（Y. N 様）

この音源を聴かせていただいて、今はピンチではなくチャンスであることが確信できました。

鮎谷さんがこの状況をどのようにとらえ、考えられているのかが知りたくて音源を購入させていただきました。

今回のことはピンチではなくチャンスとしてとらえ行動する、と考えていた、いや考えようとしていました。日々の状況から正直弱気になることもありました。しかしこの音源を聴かせていただいて、今はピンチではなくチャンスであることが確信できました。

たくさんの言葉をいただきましたが私には「下克上」という言葉が刺さりました。勇気をいただきました。

全員がスタートラインにならんだ。これからの自分の人生は自分しだい。そして後は「行動する」ですね。「いいから、やれよ」ですね（笑）

前回のピラミッド音源に引き続き、いいタイミングでいい音源をありがとうございました。

（K. I 様）

色々なメディアから「個」の時代と言われて来ておぼろげながら大切だなと思っていたのですが、鮎谷さんの音源を聞いて絶対必要な事として自分の胸に刻まれました。

音源を聞いて、特に印象に残った事

- ①大きな変化が無いと下克上が起きない
- ②安定を掴もうとするとする程、不安定になる。
- ③不安定を極めると安定になる

色々なメディアから「個」の時代と言われて来ておぼろげながら大切だなと思っていたのですが、鮎谷さんの音源を聞いて絶対必要な事として自分の胸に刻まれました。

このコロナのショックを気にピンチと捉えるかチャンスと捉えるか今からの行動にかかっていると思いますので、不安定な世の中を常態と考え人生を歩んで行きたいと思いました。

取り急ぎ何らかの情報媒体を使って、自分の情報発信を始めて行きたいです。

(K. O 様)

今回の音源は、コロナが世の中に与える影響として、似た現象を以前経験された鮎谷さんだからこそ説得力のある事例を用いて、大局観の1つ、スタンスを示してくださった、と理解しています。

■今回、下記の理由から音源を購入させていただきました。

- ・コロナにより全社員原則在宅勤務になったこと（現在オーストラリアの現地企業に出向しておりますが、当然、もれなく全社員 Work from home）
- ・これはもう以前のように戻らないだろうと漠然と思い始めていたこと
- ・以前のように戻らない世の中とは具体的には何がどうなるのか、何が減って、何ができるようになるのか、漠然とした不安があったこと
- ・別文脈として、現在日系企業からオーストラリアに派遣されている身であり、以前よりオーストラリアに残り生活を送るべく永住権獲得に向けて動いているものの、心の奥底では何かしら不安を感じていること
- ・コロナが世の中に与える影響について、もっと多角的な視点が欲しかったこと

■変化が常態+情報収集

- ・中学時代からTVは見ず、情報は本やインターネット、最近は特に Youtube も使い、情報収集していた
- ・情報収集に際しての心構えとして、多角的な視野、親書が良い、学者の情報、等のお話があったが、基本的な心構えはできていると実感したこと
- ・ここで、変化が常態、というキーワードが頭をよぎった
- ・つまり、何のために情報収集するのか、収集した結果、自分の行動を変えたか、変えなくとも何か見直したか、といったところに思いが至った
- ・今の目標はオーストラリアで職を得ること、家族としてももう1つ収益の柱を立てること、だが、情報収集と、その目標がクリアーに結び付いていないもどかしさのようなものを感じた

■デジタルツール上での個人

- ・大学を卒業し9年間、1つの会社に努めてきたが（その間、外部の会社に2社出向して、今も出向中）、その間、Facebook/Twitter 等アカウントは保有しつつも、情報収集に徹し、発信することはしてこなかった
- ・会社でも、不要な発信は控えるように、といったことを言い訳に、個人名を出

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

しての発信には、何かリスクがありそう、不安、といった思いがあった

- 音源を拝聴し漠然と、デジタル上での個人としての場の確立、のようなものが必要そうだなということは理解したが、何のためにそうするのか、その先に自分は何を実現したいのか、というビジョンが見えず、腹落ちしていない

- 音源の案内時に謳ってあった、今すぐあなたが行うべきこと、の1つにこのデジタルツール上での個人の場の確立というのがあるものと理解しが、ビジョンなく行うことに抵抗があり、それが今ももんもんとしている

- 在宅勤務が基本となるこの先、人とのネットワークを構築するうえで最低限必要なもの、というのが最も重要で、そのためにデジタル上での場を確立する必要がある、ということでしょうか？その場合、自信をもって発信できる自分の声は、今までのキャリアに基づいた業界や仕事の話、趣味で打ち込んできたこと、等に限られてしまいますが、それでよいのでしょうか？

まとめにはなっていませんが、今回の音源は、コロナが世の中に与える影響として、似た現象を以前経験された鮎谷さんだからこそ説得力のある事例を用いて、大局観の1つ、スタンスを示してくださった、と理解しています。

具体論というよりは大きな変化に対する心構え、といったものでしょうか。その中には、

- 変化が常態
 - 情報収集は多角的に
 - 何か未来を見据えて行動を起こすなら半歩先を
- といったキーワードがあったかと思います。

当方個人としては、日本・オーストラリアに限らずサラリーマンを続けながらも、家族としてもう1つ収入源を確立していきたいと思っています。これは今の職種がいつまで続くか分からない、コロナにより今は見えていない大きな業界変化が起きる可能性がある、と不安があるからでもありますし、妻のポテンシャルを発揮させる場を作りたい（今は3歳と8か月の2人息子で大忙し）、という想いもあります。

この文脈で、デジタル上での場の確立、が次のステップのようにも思いますが、今一つ、ロジックが繋がらず、もんもんとしています。そして何より何を発信すべきなのか、それを見た人に何を期待されたいのか、想像できていません。すると、次のステップは、大目標の再設定、中目標→小目標への落とし込み、といった内面を向く時間、家族との話し合い、かもしれません。とにかく、今の自分の行動や行動指針、に満足していないことはよく認識致しました。

すみません、自問自答のような感想になってしまいましたが、この自問自答こそ

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

が、音源内容を血肉とする過程だということだと思しますので、鮎谷さんの思惑通り、かもしれません笑

(M. Y 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

2年後に定年を迎えますが、その後どのような働き方をするかも考えながら、コロナ後の世界を見据えていこうと思っています。

経営者は「変化対応業」という言葉が、とても印象的でした。
あの渋沢栄一も、時代に応じて柔軟に生き方を変化させています。

私の所属している職場は、柔軟に変化できる職場ではありませんが、4月から管理職の末端になったので、少しは職場の変化・変容に力を尽くせるかもしれません。

ご多分に漏れずコロナの影響で、時差出勤・在宅勤務・ICT（情報通信技術）の活用奨励など、制度や設備の整備もないまま一度に多くの問題が発生し、現場はかなり混乱しています。しかし「ピンチはチャンス」の心意気で（これも鮎谷様から教わった言葉ですが）、少しでも同僚が働きやすい職場に変えていければ、と改めて決意しました。

現在の職場は、どちらかといえばSNS使用が制限されている状況ですが、今までやっていた趣味のブログの他に、noteで日々の生活や仕事で得た気づき（まだまだ「日記」と呼べるものではなさそうですが）の発信を、今日から始めてみました。

学生も社会人も、今まで以上に「自己管理」「セルフマネジメント」「モチベーションの維持管理」「適切な目標設定」が必要になってくる時代ではないかと思われれます。

その意味では、コロナ後の世界は格差が広がっていく可能性があるし（下剋上も可能）、これらの要素が「生きる力」であり、それを伝えて格差をできるだけ減らすことが「教育」の使命なのではと感じました。

2年後に定年を迎えますが、その後どのような働き方をするかも考えながら、コロナ後の世界を見据えていこうと思っています。

どうもありがとうございました。

(K. S 様)

「専門家の意見を聞いて想像力を高める。」と仰っていましたが、私には想像できないぐらいのレベルで情報を分析しておられるのだということが伝わってきました。

アフターコロナウィルス音源を拝聴いたしました。

毎回のよう、音源の中盤ぐらいから後半にかけて、

「この音源はお買い得だわ！！」

と感じます。

今回もそうだったのですが、、聞き終わってからは、ちょっといつもと違う感覚を覚えています。不全感、と言えるかもしれません。感想を送ろう！とキーボードを叩きながら、その感覚がどこからきているのかを探っています。

お得だ！と感じた一番の理由。それは、鮎谷さんが何度も仰っていたように、変化に対応することが必要だけれどもその変化を完全に予測することができない、だからどうするのか、の部分だと感じています。

「専門家の意見を聞いて想像力を高める。」

と仰っていましたが、私には想像できないぐらいのレベルで情報を分析しておられるのだということが伝わってきました。すなわち、藤原和博さんが仰る“情報処理力”が半端ないということだと思います。その結果紡ぎだされた、ネットやオンラインに対して取るべき姿勢という具体的な話は、その情報処理力に裏打ちされていますから、炭鉱のカナリアの発信としての価値が十分にあると感じます。自分でもおそらくこうだろうな、と思っていたことを、そのような吟味、厳選のプロセスを経た言葉として言語化されると、自信を持って進むことができると思います。

否応無く潮目が変わる時代に立たされているという覚悟を持つこと、その変化の時代にあっては情報処理力がものをいうこと、情報の集め方にはこういう注意が必要だ。こういう言語、意思決定基準が自分の中にインストールされたので、

「よっしゃ、元とれた！」

と感じたのですが、、次の瞬間に、

「いや、なんか違う、、、。」

という言葉が出てきて、悶々としたまま聞き終わりました。この理由がこうして感想を書きながらもまだはっきりとしていません。以下、思索の段階で編集でき

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

ていない文章になるかもしれませんので、分かりにくいようでしたら申し訳ありません。

おそらくはこの“意思決定基準”という言葉にひっかかっている、それは先の『ピラミッド音源』の内容が影響しているんじゃないかと思っています。あの音源を聴いたあと、他のこれまでの音源を聴き直してみると、それまで意識できていなかった、というか知りもしていなかったピラミッドのイメージによって、自分の中で理解していたと思っていた音源の内容が悉く崩れていったからでした。混沌としています。

鮎谷さんが言語化されたものを自分の中に取り込む、インストールするのは、それこそ送られてくる zip ファイルを解凍するかのごとく、聞けばいけるものだという錯覚に陥っていたような気がするのです。ファイルの中にある全てをインストールしないと、自分が本当に得たい情報は入っているようで入っていないのではないかと。

すなわち、鮎谷さんの思考の原理原則のものが自分の中に入っていないければ、本当の意味での理解にはつながらないのではないかと。それが私が『ピラミッド音源』を聴いてしまったがために気づいたことだったと思うのです。

翻って今回の『アフターコロナ』音源について考えてみますと、例えば、とんでもない大きなこの変化の瞬間をチャンスと捉えよ、という言葉は、鮎谷さんの思考 OS に乗っかると本来の力を発揮する言葉だと思うのですが、私が持っている思考 OS だとうまく処理しきれないと感じるのです。

その OS をアップグレードするのにも、いわゆるお勉強ではなく行動が必要であるということは自分の傾向として押さえておかなければならないと思っています。と同時に、一周目で頭の中に残った、鮎谷さんの情報処理のキモという話はやはり活用しないわけにはいかない、とも思っています。

つまりなんらかの行動を、それこそリアルで取りにくいこの現状、ネットやオンライン上で発信するという行動をリアルな行動と並走させるということを常態化させ、そこで得られる情報を丁寧に処理する姿勢が大事なのだと思います。

つまり、今までの私の行動は、ただ闇雲に動いて、そこから生まれた微かなフィードバックに対してあまりにも鈍感だったため、その次の行動に加速がつかず、結局行動が長続きしない、精度や質が上がらない、という状態になっていたのだと思います。

行動を起こしながら、多角的に情報を得ることを意識し、それをまた自分の行動に還元する。

言うは簡単だと思いますが、それができていないのもまた、自分の思考のピラミッドの行き来が足りていないからだだと思います。アフターコロナの世界に対する心構えを教えていただき、かつそこに共通して流れている鮎谷さんの思考の OS

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

のインストール率がもっと上がった時に、心から、

「この音源はお得だ！」

と思えるのかもしれませんが。

(大阪 ECO 動物海洋専門学校 獣医師／臨床心理士 渡邊力生 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

時代の変化以上に自分が変わらなければいけないといつも通りに着火させていただきました。

今回お聞きして時代の変化は何となく分かってはいましたが庄巻の危機管理能力をお持ちの鮎谷さんの音源を聞いて変化することが当たり前であり、今までの変化が少なかった時代があり得なかったことが分かりました。

今までのビジネスモデルではなく、この変化の時代に必要な情報発信ややった事ない事に挑戦などとにかく変わらなければいけない。

時代の変化以上に自分が変わらなければいけないといつも通りに着火させていただきました。

とりあえず YouTube を始めておいて良かったです。。

今後ともよろしく申し上げます！！

(鈴木 まさひろ 様)

言われていることはわたくしなりにも考えていたことですが改めて肝に銘じてこの期間を過ごすように決意した次第です。

鮎谷様

初めてコンテンツを購入させていただきました

私は京都市で歯医者をしております
メルマガはかなり昔から登録しておりましたがここ数年は実はほとんど読むことができませんでした。

それというのも多忙のためそこに気を回すことができなかつたからです。今回のコロナのおかげで溜まっていた案件もこなすことが出来たのですがやはり仕事量の減少がいつまで続くかわからないので今後の対応の参考にさせてもらおうと音源を購入した次第です

言われていることはわたくしなりにも考えていたことですが改めて肝に銘じてこの期間を過ごすように決意した次第です。

職業柄すべてがオンライン化になることは無いのですが患者さんの半分は不要不急（予防処置など）であることがわかりました。しかしながら重要性が低下したとは考えられません

考えるほど医療としての根本に戻ってしまいます。
医療をビジネスとしているわけではありませんがまっとうな利益が無ければ医療機関としても成り立ちませんのでしっかり考えてこの変化の世界を生き抜いていこうと思います

今後とも宜しく願います。

(N. I 様)

いい意味で、ぼーっとしていると環境変化に取り残されるということを意識せざるえなくなったことは、私にとって他に代えがたい価値でした。

鮎谷様

この度は、アフターコロナ放談会音源のご提供ありがとうございます。

購入から一週間、車での移動の際を、音源学習の場にし、リピートしております。

特に、印象に残った点として、変化対応リソースについてのお話は、私が音源を聴くまではうすうすと感じていたことを腹落ちさせてくれました。「不安定を極めると安定になる。」という言葉は、今後の方向性を示してくれたように感じています。

いい意味で、ぼーっとしていると環境変化に取り残されるということを意識せざるえなくなったことは、私にとって他に代えがたい価値でした。

以上

感想としてお送りさせていただきます。

この度は、学びの多い音源を提供いただきありがとうございました。

(五島 克英 様)

これまでは、目先の事象や安定にばかりフォーカスしてしまっていました
が、これからは、本当にありたい姿に向かって日々一歩ずつ踏み出して
いきたいと思います。

今回の音源で一番学んだ点は、有事の際の思考・行動よりも、平時の際の思考・
行動こそがより重要であることでした。

コロナの影響は有事であり、世の中のルールが大きく変容し、人々の意識（危機
感、常識を疑う、等々）も変わり始めておりますが、このような場合、変化が激
しいが故、誰にとっても分かりやすい（受け入れざるを得ない）状況でありま
す。

一方で、コロナの有無に関わらず世の中は常に変容し続けており、それにも関わ
らず、変化が微量であるが故、多くの人々がそれに気づくことなく（違和感を抱く
ことなく）日常生活を送っていることに気がつきました。

有事と平時の割合を考えれば、平時の方が大きな割合を占めることは明らかで、
有事で意識が切り替わり、大きく思考・行動を変えることよりも、平時から意識
を切り替え、少しずつ思考・行動を変える方が、より大きな変化を遂げることが
できるのではないかと。

今回の音源で認識を改めた次第であります。

また、平時における意識の切り替えを常態化していくことは、変化を許容しやす
い体質をキープできるメリットもあると感じました。
そして、ここが他者と差別化を図る大きなポイントになると深く実感致しまし
た。

これまでは、目先の事象や安定にばかりフォーカスしてしまっていました
が、これからは、本当にありたい姿に向かって日々一歩ずつ踏み出して
いきたいと思います。

貴重なアドバイスをいただき、本当にありがとうございました。

（Web 制作業 T. H 様）

「ピンチはチャンス」という言葉は使い古されているかもしれませんが、
今回の音源
での鮎谷さんのお話は、この言葉に新たな息吹をもたらしたように感じました。

鮎谷様、セカンドステージの皆様

この度は「コロナ音源」を拝聴し、貴重なご示唆を頂きましてありがとうございました。

今回の音源の肝は「変化が常態である」という一言に尽きるのではないかと思います。誰しものが多かれ少なかれ、「昨日の延長線上に今日があり、今日の延長線上に明日がある」という感覚を持って生きていることは疑いようがありません。

しかし、その中で確実に世の中が変わっているはずであり、本来的にはあえてそのことに目を向けなければならないはずです。コロナウイルスの影響云々の前に、この音源では鮎谷さんのご経歴を参照しながらそのことを教えて頂きました。

その上で、コロナウイルスの影響が何をもたらしたか、という点に関しては「既に起こった未来」を先取りしたに過ぎない、という視点を頂きました。

テレワーク化、オンライン化、物流やサービスの合理化、といったような課題は以前から存在していたわけですが、それほど多くの方がこの問題に本気になって取り組んでいたわけではありませんでした。

これに目を向けさせ、人に本気で取り組ませたのがコロナウイルスである、ということ気付かされました。そして、「コロナウイルスの影響はチャンスの到来である」というお話を頂きました。

もちろん、既得権益を守りたい人にとっては必ずしもチャンスとは言えないのですが、大勢を占める人にとっては、逆転のチャンスであり、下克上のチャンスであり、体を入れ替えるチャンスであるということです。

私自身のビジネスモデルとしては、対面して進める仕事がメインではあり、その意味ではピンチともいえる状況でしたが、このお言葉を頂いたことで考え方を改め、「いち早く時代の変化に対応している同業者はほとんどいないのではないか。」と考えるようになりました。

そのおかげで、考え方を急転換させ、zoom 相談の導入、テレワーク化のためのシステム導入などの整備、対応する案件の再考を急ピッチで進めています。

「チャンス」と捉えることによって、単に「対応しなければならない」というマ

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

インドに比べて次の一手、その次の一手といったように自発的な行動が促されま
すし、新たなアイデアが浮かんでくるものだと感じています。

「ピンチはチャンス」という言葉は使い古されているかもしれませんが、
今回の音源での鮎谷さんのお話は、この言葉に新たな息吹をもたらしたよ
うに感じました。

このようなご時世ではありますが、たゆまず、緩まずにチャンスをもものに
すべく邁進していこうと気持ちを新たにしました。

引き続き宜しくお願い申し上げます。

(アンサーズ弁護士事務所 弁護士 荒木俊和 様)

思考のピラミッド音源もそうでしたが、これまで学ばせていただいたものが、一つ一つ磨き上げられている感じがします。

鮎谷様

今回も多くの気づきを引き出していただき、ありがとうございました。
いくつか箇条書きします。

1.変化常態×ホメオスタシス

これまで、ホメオスタシスという言葉の意味を、保守的な位置づけで「変化を嫌う」という解釈をしていました。しかし、今回、変化常態をホメオスタシス化させる、ということばに触れて基準を書き換え、変化常態を強化することができました。

2.変化が10倍速の時代の対処法

そもそも、変化常態であるなら、変化10倍速の外部環境にあっても、それに合わせて変化すれば良いだけなので、何も慌てる必要はなくて、これまでのシステムをメンテナンスして、10倍速に対応できるように変化させるだけ。それは例えば、対面をオンラインに変える、初回の顔合わせ飲み会を情報発信常態に変える、というようなこと。全てはシステムを強化するチャンスであると、改めて感じました。

3.先読み筋を鍛え、行動する

先読み筋を鍛えるためにすること。

それは、物語をたくさんインストールして、長い時間軸を見通す目を養うこと、ある人の意見を結論とするのではなく、3点観測により自分の仮説を立てること。そして、鍛えた先読み筋からの洞察で、半歩先の行動をしていくことで、未来を作っていく。その未来がたまたま、今、実っているだけ。桃栗3年柿8年理論ですね。

思考のピラミッド音源もそうでしたが、これまで学ばせていただいたものが、一つ一つ磨き上げられている感じがします。

今後ともよろしく願いいたします。
いつも本当にありがとうございます！

(奥田 龍史 様)

今回の音源も大変勉強になりました。
と同時に、今後のことを考えるヒントが満載で目からウロコがたくさん落ちてきました。

いつも骨身にしみる音源を提供いただきありがとうございます。
今回の音源も大変勉強になりました。と同時に、今後のことを考えるヒントが満載で目からウロコがたくさん落ちてきました。

特に印象に残っているのは

- 経営とは変化対応業
- 変化はゆるく、急激に、関わらず、し続けている
- 総じて平和というのは基本的になかった

という内容の3点です。

アフターコロナ放談会音源を購入しようと思ったきっかけは、変化に対応、環境に適応して、その後の世界にいかにか備えていくかを考えるきっかけを得たからです。内容はいつもながら想像をこえるものでした。

変化の兆し、兆候、ゆらぎのようなものは常にあり、どうすれば自分にとってのチャンスをつかむことができるか、自分の道標となる情報をどうとっていくか、中長期的な視点をもとに選別していき、後はひたすら行動する。急激な変化が起きようとしている今だからこそより意識して行動につなげていくことが必要だと感じました。

音源を聞いた直後に、Yahoo ニュースに張本さんと関口宏さんの下記のようなやり取りの記事があり、張本さんの心構えに比べると、平和な状況が当たり前になっている自分自身の思考に改めて気づき、ハッとしました。

関口さん：「ずっと家にいてイライラしませんか？」

張本さん：「イライラしません。私らの時代は防空壕で何日もすごしているから。イライラしてもしょうがないもん。ビデオを見たり、楽しんでいることは楽しんでいます」

(和田圭史 様)

今の状況に、「チャンスだ」「実はこんな状況を待っていたかもしれない」と思っている自分がいて、今回の音源はととても有り難い後押しとなりました。

今回の音源を聞いてまず思った事は、目標設定、日記、物語、時間管理、即断即決即実行の集大成が行動として現れるものだと感じました。

そしてコロナを機に今までの音源をようやく 100%実行に移せる環境が整ったのではないかと思います。 極小リスクミドルリターン音源で言っている事は頭で分かっている、実際に今回のような現状にならないと、魂まではスイッチがオンにならないなあと実感したところで、今回のコロナは本当に有り難い状況だと感じます。

そして鮎谷さんがよく言われている「潰そうと思ってもつぶれない会社を作る」という重要性がようやく自分の中で腹落ちすることが出来、そこに向けて発進しました。

頭の中でどのような言語を回すかによって作れる物語が変わってくるとよく実感でき、本音源の中で言っている「変化することが常態である」はととても響きました。響いたとともにとても安心感が得られ、今までやってきたことのベクトルが間違っていないことと、これからそのスピードが上がる事に確信を持てる言葉を頂きました。

接触を避ける 10 ポイントで「オンライン診療」が出ましたが、私は鍼灸院経営なのでこれに乗かって「オンライン鍼療」を投げました。

業界として今までにはない価値を生み出すべく、試行錯誤・投げては検証を繰り返し、1年後には「あの時の産みの苦しみが楽しかった」と言っている自分達を想像しながら、実際に今楽しみながら進み始められています。？

今の状況に、「チャンスだ」「実はこんな状況を待っていたかもしれない」と思っている自分がいて、今回の音源はととても有り難い後押しとなりました。

繰り返し聴くことによってさらに気づきが得られますので、ヒーローセッションでこれからも聴いていく次第です。

(なんば鍼灸院 南波利宗 様)

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

あなた様の

コロナ後の世界を見据え、奇禍を奇貨とし、
「すでに起こった未来」を先取りするために
必要な心構えと準備とは？放談会音源

のご購入をお待ちしております。
お求めは下記リンクよりどうぞ。

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>

■当音源（アフターコロナ音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/28066879>